

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野名	施設	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月以降	備考		
				12	19	26	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14			21	28
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																(継続運転)	3号機 原子炉建屋滞留水水位低下(T.P.-2800目) 実施(2022年6月1日~) 目標到達【2023年3月30日時点水位 約T.P.-2800】 ※監視パラメータ異常なし 1号機 原子炉建屋滞留水水位低下(T.P.-2200目) 実施(2023年2月28日~) 目標到達【2023年3月30日時点水位 約T.P.-2200】 ※監視パラメータ異常なし
		【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																(2023年度 工事了り予定)	
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	設計検討																(2024年度 設計完了予定)	
		【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討	詳細設計・工事																(2024年度 工事了り予定)	
		【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土壌の検討】	設計・検討	詳細設計・工事																(2024年内 工事了り予定)	実規模モックアップ(2022年10月~) 実施計画変更(2023年3月申請予定)
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請(2022年4月28日認可) 高性能多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請(2022年9月28日認可) 使用前検査 : 2023年2月28日終了証発行 多核種除去設備 連絡配管設置に係る実施計画変更申請(2022年4月28日認可) 使用前検査 : 2022年12月9日終了証発行 2023年4月インサービス予定
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																(継続運転)	サブドレン汲み上げ・運用開始(2015年9月3日~) 排水開始(2015年9月14日~) 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始(2022年3月~)
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業	運転																(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																(継続運転)	2021年1月29日 吸着槽の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(新規規格第2101291号) 使用前検査: 2022年7月21日(第二セシウム吸着装置1号) 2022年7月28日(第二セシウム吸着装置2号) 2022年8月25日(第二セシウム吸着装置3号) 使用前検査予定: 2023年4月11日(第三セシウム吸着装置1号) 2023年4月18日(第三セシウム吸着装置2号) 2023年5月23日(第三セシウム吸着装置3号) 試験中(第三セシウム吸着装置4号~6号) 第三セシウム吸着装置の運転計画再見直しにより実施時期再調整中
		(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全構築完了	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																(継続運転)	6BL+H1戻り配管(昨年度凍えい箇所近傍) カップリングジョイント部からブライン撤去(11月28日) 当該区間のブラインを抜き取り、カップリングジョイント交換及びブライン補給を実施(2月10日)
フェーシング(陸側海水壁内エリア)	現場作業	【凍土壁内フェーシング(全6万m ²)】 ・3号機建屋西側	3号機建屋西側																(2024年2月完了予定)	3号機建屋西側: 2024年2月完了予定	
1~2号Rw/B壁上雨水排水対策工事	現場作業	(実績・予定) ・1号Rw/B壁上雨水の浄化材への排水ルート構築	(2023年3月24日 工事了り予定)																(2023年1月10日 善手)	2023年1月10日 善手	
1~4号機建屋周辺トレンチ調査	現場作業	(実績・予定) ・12箇所の調査実施(2023)																	(2023年12月調査完了予定)		
サブドレンNo40周辺PCB含有絶縁油拡散抑制対策	現場作業	(実績・予定) ・漏失板設置 ・薬液注入																	(2023年7月 工事了り予定)		
5号機建屋間ギャップ 漏れ止水対策	現場作業	(実績・予定) ・建屋間ギャップ漏れ止水: 4箇所																	(2024年1月完了予定(天候、試験結果により工程は見直す可能性がある))	準備作業: 善手2023年2月末 掘削開始: 2023年5月予定(掘削工程) 2024年1月完了予定(天候、試験結果により工程は見直す可能性がある)	

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	格別	実施中長期実行プラン2022目標工程	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	2月		3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月以降	備考							
					12	19	26	5	12	19	26	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25			2	9	16				
汚染水対策分野	●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	<ul style="list-style-type: none"> (実績・予定) ・汚染の拡散状況把握 	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																								(継続実施)			
					タンク解体	<ul style="list-style-type: none"> (予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事：49基解体予定(2023年度中) ・Eエリアフランジタンク(D1)内の残水回収(スラッジ含む) (実績) 解体基数 47基/49基 	現場作業	Eエリアフランジタンク解体工事																								(2023年2月D12タンク解体完了)* ※: 残水回収中のD1タンクおよびその残水回収作業で使用しているD2タンク(計2基)を除く	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について(実施計画変更認可) D12タンク解体完了: 2023年2月
							現場作業	Eエリアフランジタンク(D1・D2)内の残水回収																								(継続実施)	D2タンク内の残水回収: 2022年6月完了
	●自然災害対策	津波対策	<ul style="list-style-type: none"> ○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防潮堤設置(実績・予定) 斜面補強構築工事 本体構築工事 ○サブドレン集水設備高台機能移転(実績・予定) ろ過水タンク西側整備工事実施 地盤改良(実施中) 	現場作業	斜面補強・本体構築工事																								(2024年3月工事完了予定)	2024年3月完了予定 現場着手: 2021年6月21日開始 斜面補強部: 2021年9月14日作業開始 防潮堤本体部: 2022年2月15日作業開始			
				現場作業	ろ過水タンク西側整備(ろ過水配管リルート工事) 地盤改良工事(地盤改良) 実施中																								(2024年度初旬工事完了予定)				
		豪雨対策	<ul style="list-style-type: none"> ○豪雨対策 ・D排水路新設(9月30日完成) ・モニタリング関連設備構築中 	現場作業	モニタリング関連設備構築工事																								2023年3月23日 モニタリング設備 2基統括完了予定	2022年11月にモニタリング設備(連続監視)運用開始 2022年12月にゲート遠隔操作開始予定			

水処理設備の運転状況, 運転計画

(2023年4月7日～2023年5月18日)

2023年4月21日

東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
A	点検停止																								↔																	
B	点検停止																		↔	点検停止	計画停止																					
C	点検停止							↔														計画停止							↔	点検停止	↔							計画停止				

増設多核種除去設備

	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
A	計画停止			↔				計画停止			点検停止				計画停止											点検停止				計画停止												
B	点検停止																																									
C	↔			計画停止		↔		計画停止			点検停止		↔		計画停止			点検停止			計画停止							点検停止														

高性能多核種除去設備

	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
A	計画停止																		点検停止				計画停止																			

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)
SARRY	↔				計画停止			↔				計画停止				点検停止	↔		計画停止			↔				計画停止				↔												
SARRY2	点検停止							↔				計画停止			↔				計画停止							↔				計画停止			↔									
KURION	計画停止																																									

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

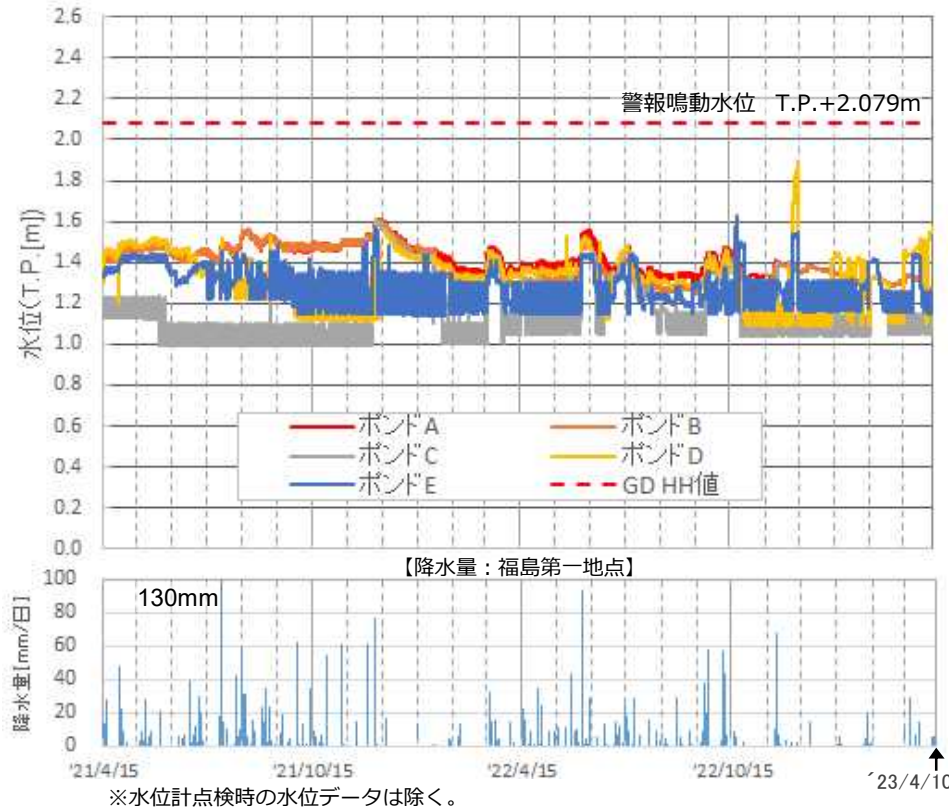
地下水ドレンの稼働状況について

2023/4/21

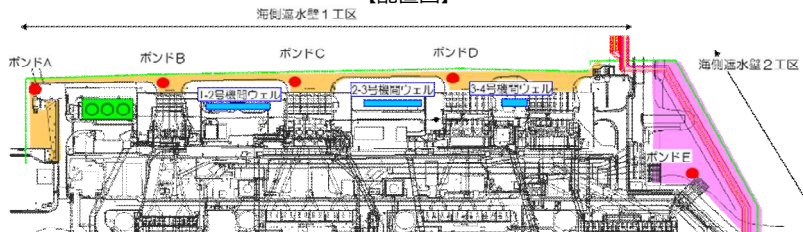


【地下水ドレンポンド水位】

ポンドDの改良工事に伴う停止 '21.12/13~12/17,'22.7/4~7/8
 ポンドCの改良工事に伴う停止 '21.12/6~12/10, '22.6/27~7/1,'22.9/26~'22.9/30
 ポンドEの改良工事に伴う停止 '22.2/7~2/11, '22.8/1~8/5



【配置図】



■ 地下水ドレン集水タンク及びT/B移送量（左表）、
ウエルポイントT/B移送量（右表） [m³/日]

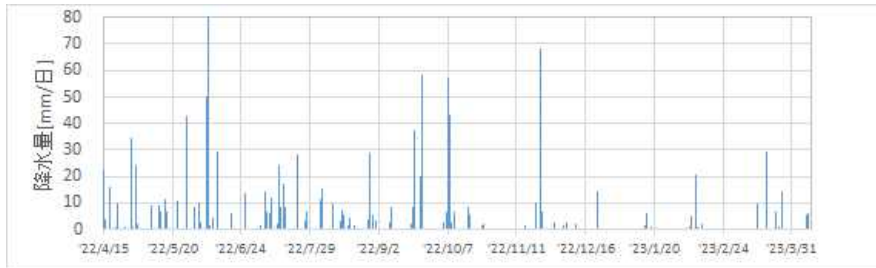
前日0:00より24時間

地下水ドレン	中継タンクA		中継タンクB		中継タンクC		集水タンクの移送量合計	T/B移送量合計*	移送量合計*	ウエルポイント			
	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B				#1-2期	#2-3期	#3-4期	合計*
3/7	0	0	6	0	5	0	11	0	11	7	0	0	7
3/8	0	0	6	0	4	0	10	0	10	13	0	0	13
3/9	0	0	6	0	24	0	30	0	30	7	0	0	7
3/10	0	0	8	0	18	0	26	0	26	7	0	0	7
3/11	0	0	4	0	5	0	9	0	9	7	0	0	7
3/12	0	0	7	0	4	0	11	0	11	0	0	0	0
3/13	0	0	6	0	7	0	13	0	13	7	0	0	7
3/14	0	0	6	0	6	0	12	0	12	7	0	0	7
3/15	0	0	22	0	6	0	28	0	28	0	0	0	0
3/16	0	0	33	0	6	0	39	0	39	7	0	0	7
3/17	0	0	40	0	6	0	46	0	46	0	0	0	0
3/18	0	0	43	0	8	0	51	0	51	0	0	0	0
3/19	0	0	43	0	9	0	52	0	52	7	0	0	7
3/20	0	0	42	0	9	0	51	0	51	7	0	0	7
3/21	0	0	43	0	9	0	52	0	52	7	0	0	7
3/22	0	0	43	0	10	0	53	0	53	7	0	0	7
3/23	0	0	42	0	31	0	73	0	73	7	0	0	7
3/24	0	0	42	0	48	0	90	0	90	7	0	0	7
3/25	0	0	43	0	48	0	91	0	91	7	0	0	7
3/26	0	0	41	0	47	0	88	0	88	0	0	0	0
3/27	0	0	41	0	48	0	89	0	89	7	0	0	7
3/28	0	0	43	0	47	0	90	0	90	13	0	0	13
3/29	0	0	40	0	46	0	86	0	86	7	0	0	7
3/30	0	0	53	0	61	0	114	0	114	7	0	0	7
3/31	0	0	60	0	69	0	129	0	129	6	0	0	6
4/1	0	0	57	0	69	0	126	0	126	9	0	0	9
4/2	0	0	59	0	66	0	125	0	125	11	0	0	11
4/3	0	0	38	0	39	0	77	0	77	7	0	0	7
4/4	0	0	8	0	0	0	8	0	8	7	0	0	7
4/5	0	0	9	0	2	0	11	0	11	6	0	0	6
4/6	0	0	45	0	3	0	48	0	48	9	0	0	9
4/7	0	0	77	0	1	0	78	0	78	11	0	0	11
4/8	0	0	78	0	4	0	82	0	82	7	0	0	7
4/9	0	0	77	0	1	0	78	0	78	7	0	0	7
4/10	0	0	77	0	2	0	79	0	79	7	0	0	7
平均	0	0	37	0	22	0	59	0	59	6	0	0	6

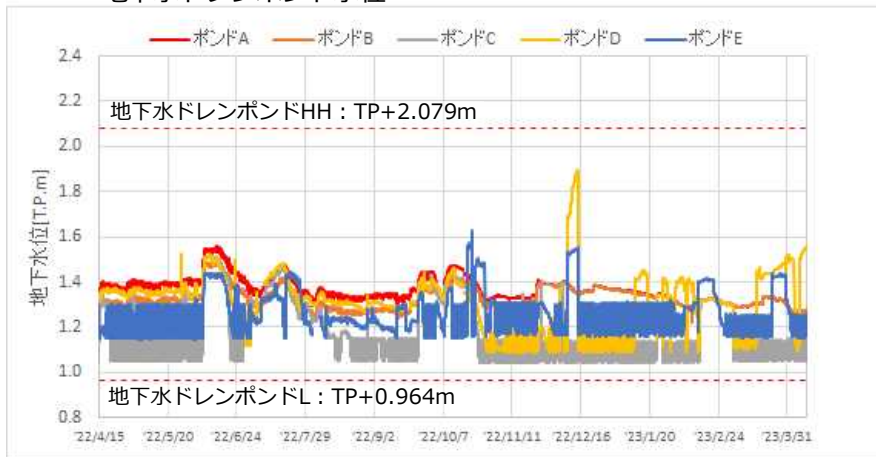
※合計値は小数点第一位のデータを合計しているため、個々のデータを合計した数値と合計値に 差異がある場合がある。

地下水ドレン稼働状況および水位変化状況

降水量（福島第一）

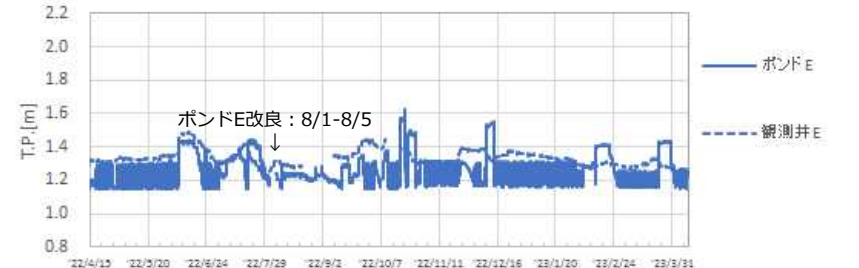
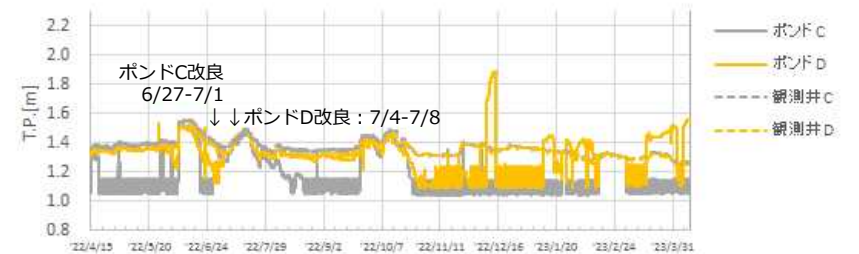
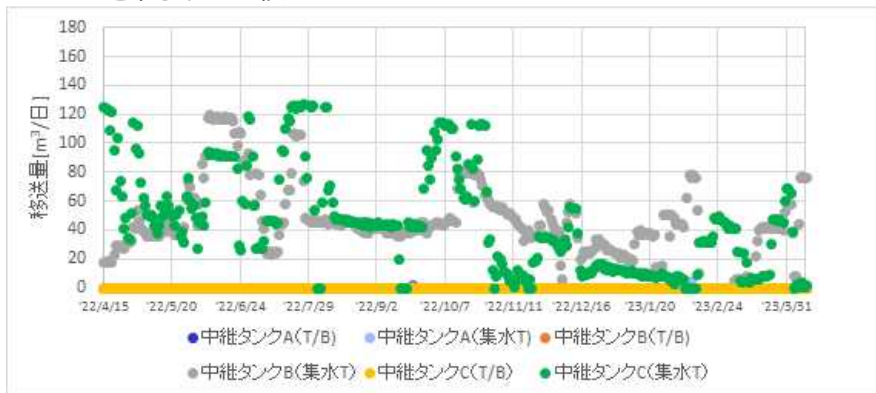


地下水ドレンポンド水位



※記載グラフについて、水位計点検時の水位データは除く。

地下水ドレン移送量



- 通常時はポンドC～Dを稼働し、ポンドCの設定水位を一番低くして、H3の拡散抑制を継続。
- 集水タンクのH-3,Sr濃度上昇抑制のため、サブドレンの稼働状況を踏まえて、各ポンドの設定水位の変更及び流量調整等を都度、実施。
- また、観測井水位と降雨予報も踏まえ、適宜、ポンドの稼働や観測井からの揚水を実施。
- 現時点における設定水位及び稼働状況

	H値	L値
ポンドA	T.P.1200mm	～ 1000mm
ポンドB	T.P.1200mm	～ 1000mm
ポンドC	T.P.1150mm	～ 1050mm
ポンドD	T.P.1250mm	～ 1100mm
ポンドE	T.P.1250mm	～ 1150mm

[稼働状況]	
観測井の水位変動状況等に応じて稼働	
観測井の水位変動状況等に応じて稼働	
稼働中（流量調整を適宜実施）	
稼働中（流量調整を適宜実施）	
稼働中（流量調整を適宜実施）	

◆ 中継タンク

- セシウム137 ; 中継タンクBは、5~10Bq/L程度、あるいは検出限界値 (ND) で推移している。
中継タンクCは、40~80Bq/L程度で推移。
- 全β ; 中継タンクBは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、500Bq/L程度で推移。
- トリチウム ; 中継タンクBは、1,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、300Bq/L以下で推移。

(記載データ採取日)

中継タンクA ; 2017/12/8※

中継タンクB,C ; 2023/4/10 (単位) Bq/L

中継タンク	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.4	3,600	1,800
B	<4.8	970	1,200
C	57	450	220

※ ポンドA非稼働のため
2017/12/8以降サンプリング休止



<参考> 地下水ドレン汲み上げ水の水質 (ポンド別)

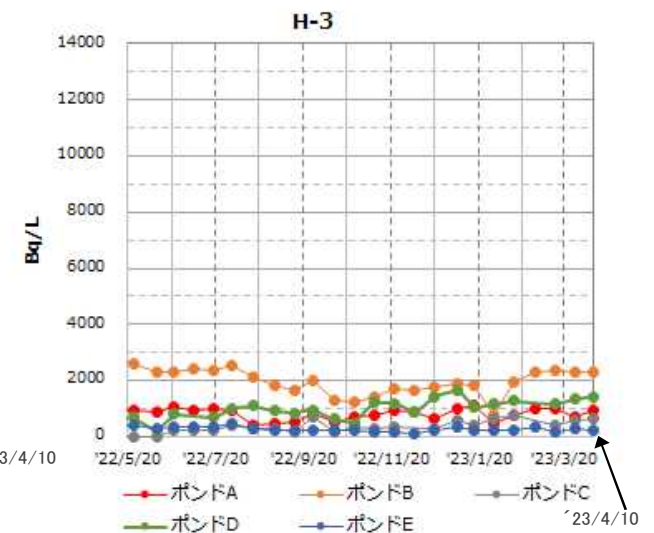
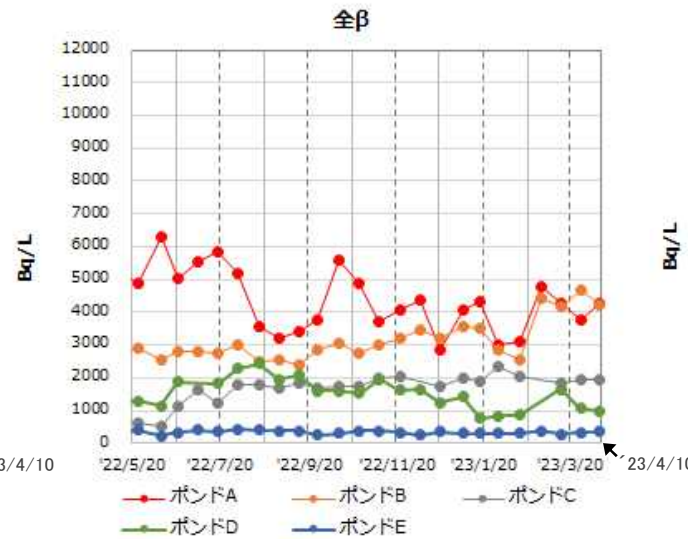
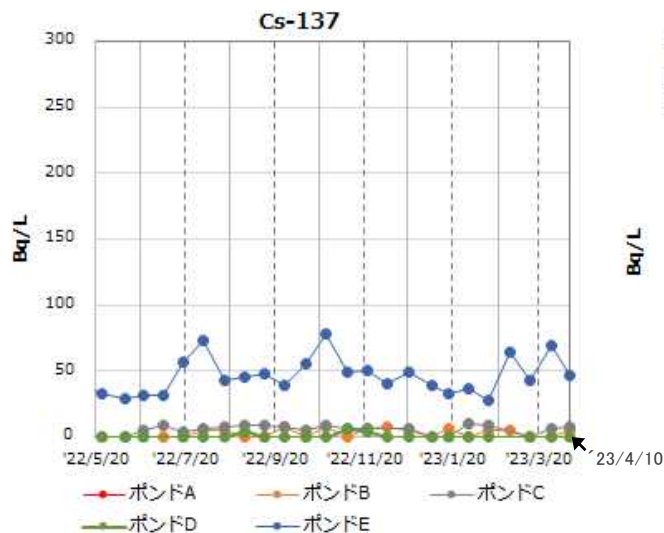
◆ ポンド

- セシウム137 ; ポンドEは、50Bq/L程度で推移。
- 全β ; ポンドAは、3,000~5,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、2,000~4,000Bq/L程度で推移。
ポンドC,Dは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
- H-3 ; ポンドAは、500~1,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
ポンドC、Eは、500Bq/L程度以下で推移。
ポンドDは、1,000Bq/L程度以下で推移。

(記載データ採取日)
2023/4/10

(単位) Bq/L

ポンド	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.2	4,300	910
B	5	4,200	2,300
C	7	1,900	660
D	<5.6	980	1,400
E	47	370	250



サブドレン稼働状況について

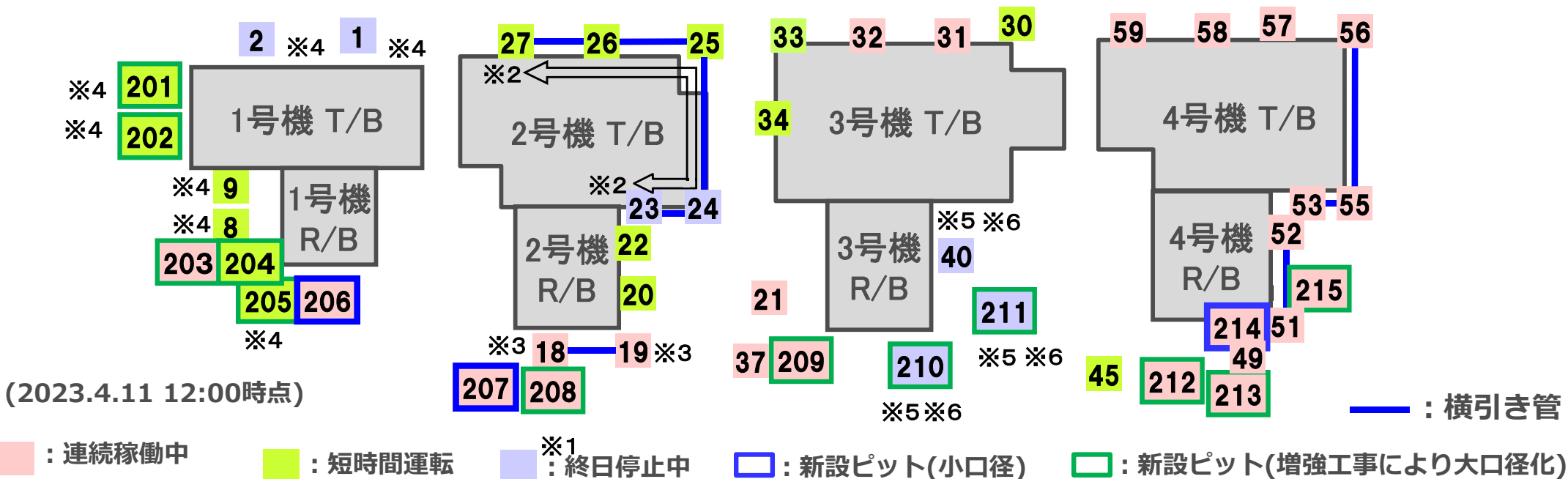
2023年4月21日

東京電力ホールディングス株式会社

サブドレン稼働概要

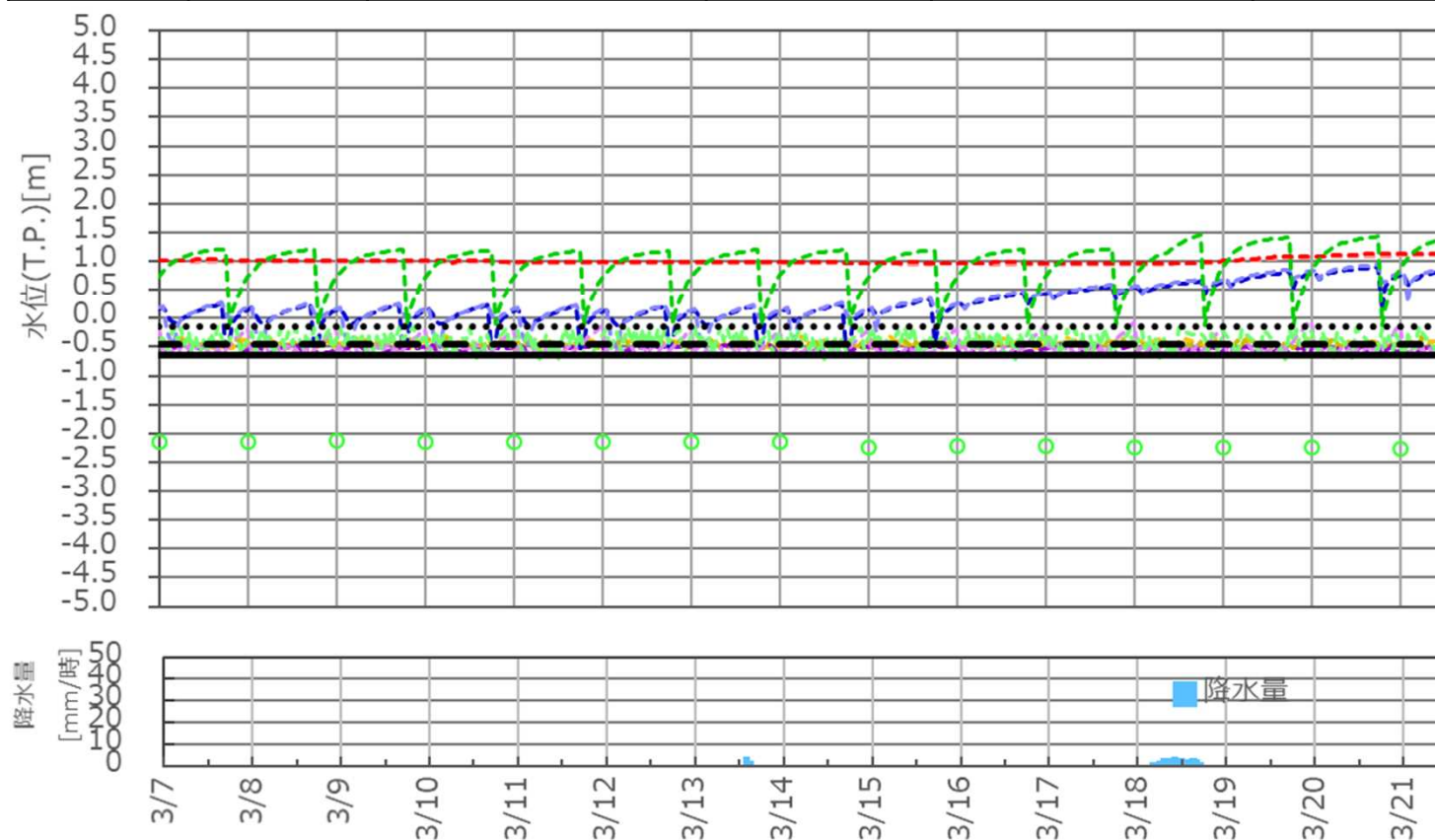
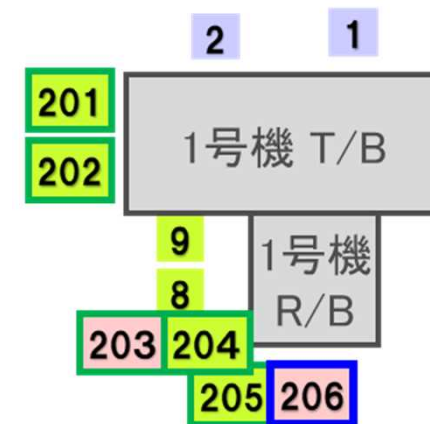
対象ピット	期間	設定値(m)		
		L値	H値(大口徑)	H値(小口径)
周辺ピット	2020/2/7~	T.P.-0.15	T.P.0.05	T.P.0.350
	2020/2/18~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	T.P.0.150
	2020/11/12~	T.P.-0.45	T.P.-0.25	T.P.0.050
	2020/11/24~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	T.P.-0.050
	2021/5/13~	T.P.-0.65	T.P.-0.45	T.P.-0.150
No.205,No.208 ※1	2021/5/13~	T.P.-0.20	T.P.0.00	-
No.23~No.27 ※2	2020/2/18~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	-
No.18~No.19 ※3	2020/8/7~	No.18	T.P.0.50	T.P.0.70
		No.19	T.P.0.70	T.P.0.90
No.1,2,8,9,201,202 ※4	2020/11/24~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	-
No.40,210,211 ※5,※6	2021/9/13~	No.40	T.P.1.50	T.P.1.70
		No.210,211	T.P.2.00	T.P.2.20
	2021/9/21~	No.40	T.P.1.00	T.P.1.20
		No.210,211	T.P.1.50	T.P.1.70
	2022/3/10~	No.210,211	T.P.1.40	T.P.1.60

- ※1 トリチウム濃度の高い地下水の汲上を抑制するために、No.206,207ピットより水位設定値を高く設定している。
- ※2 No.23~27については、2020/2/18~の設定値に据え置き。理由は、ポンプ停止時の水位上昇が遅いため、大雨の際の建屋水位上昇に備えて設定値を下げないこととした。
- ※3 No.18, 19については、溢水防止を目的とした連続運転を続けられるようにするため、水位設定値を高くしてトリチウム濃度を抑制している。
- ※4 No.1,2,8,9,201,202については、2020/11/24~の設定値に据え置き。理由は、※2と同様。
- ※5 No.40はピット内への油の引込みを防止するため水位を高くし、No.210、211は古い連結管を通してNo.40からの油の引込みを防ぐため、より高く設定している。
- ※6 2022/4/21に確認された3号機起動変圧器からの油漏れ事象により、No.40,210,211ピットを停止中。



至近の水位変動（1号機）

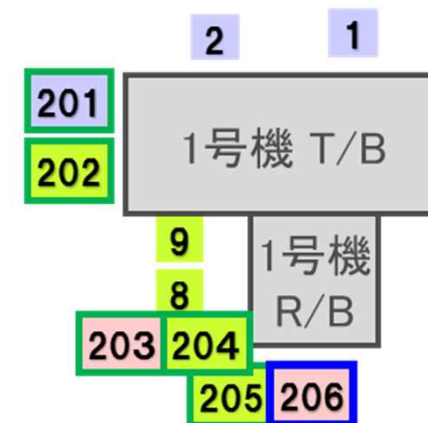
	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	
----- 201(N1)	短時間運転		○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				



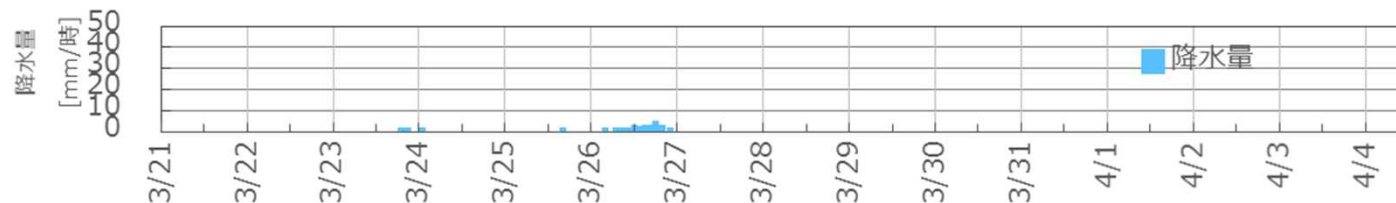
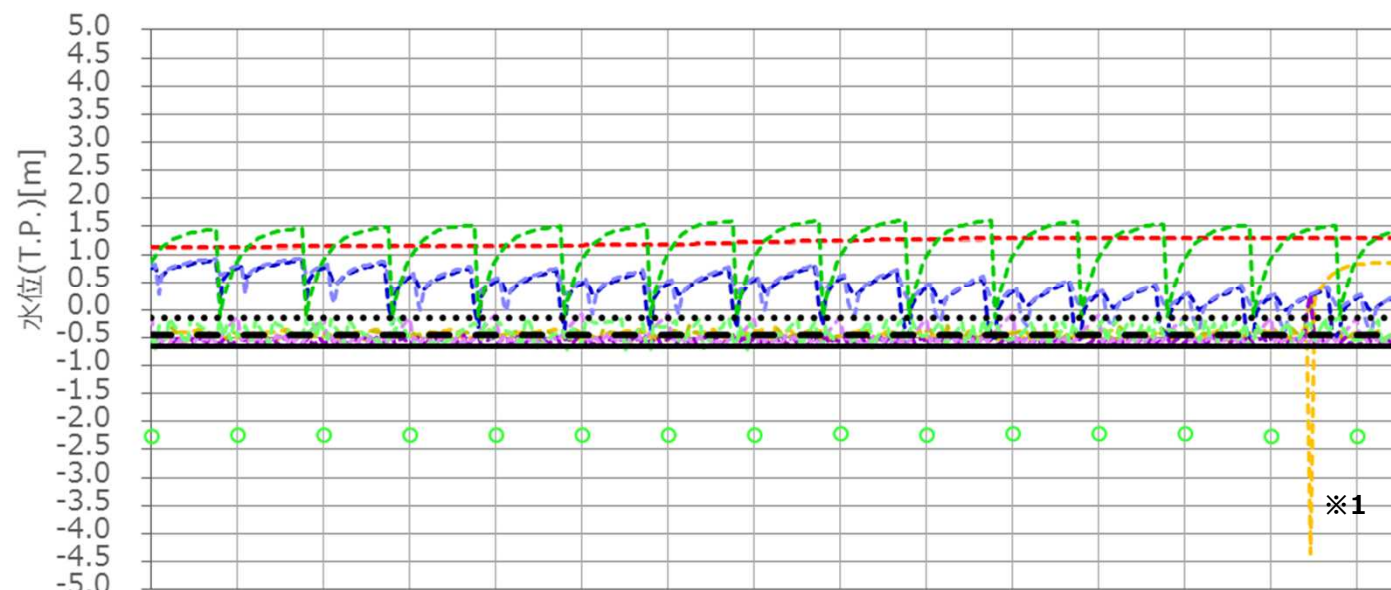
①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値

至近の水位変動（1号機）

	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	
----- 201(N1)	短時間運転	※1	○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				



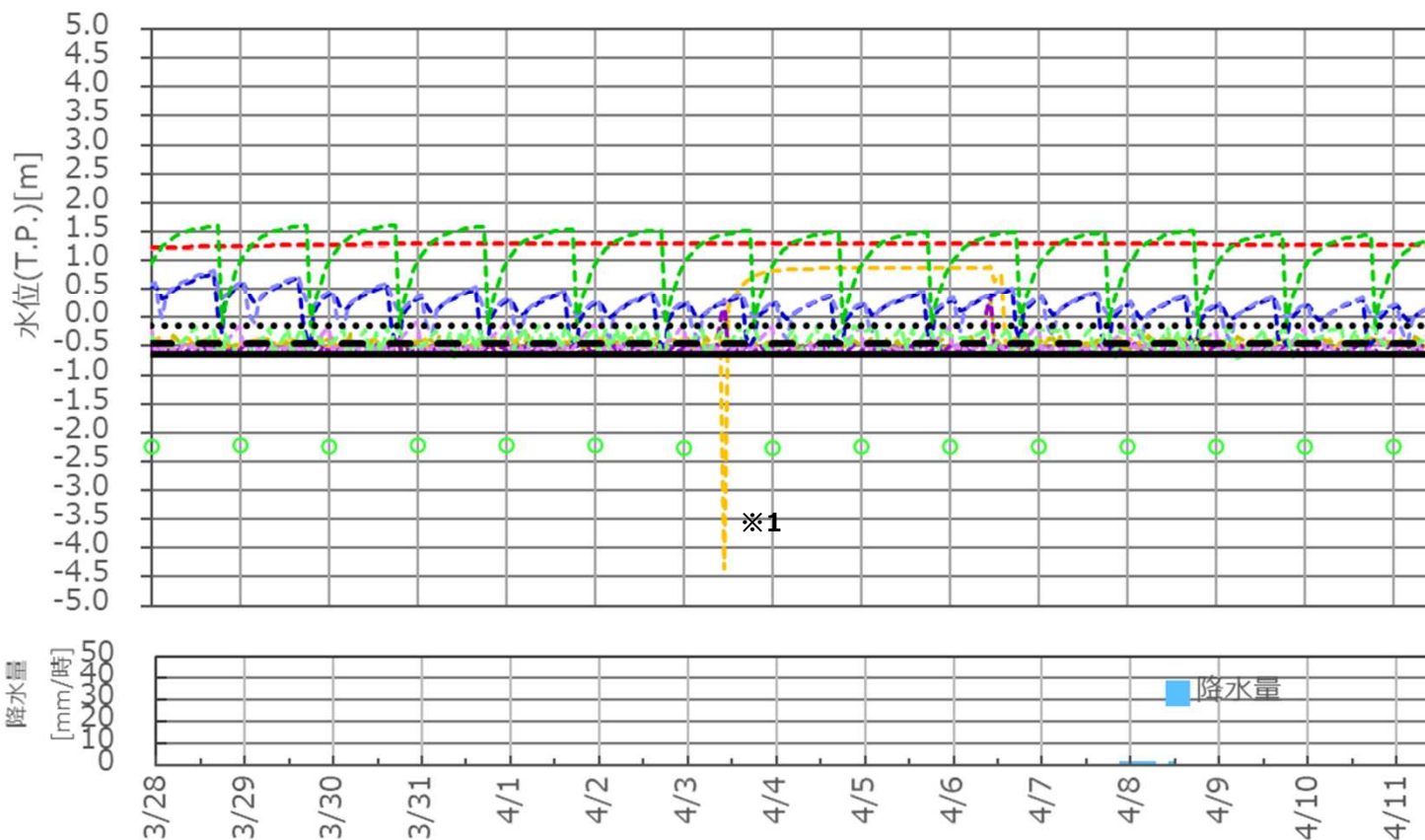
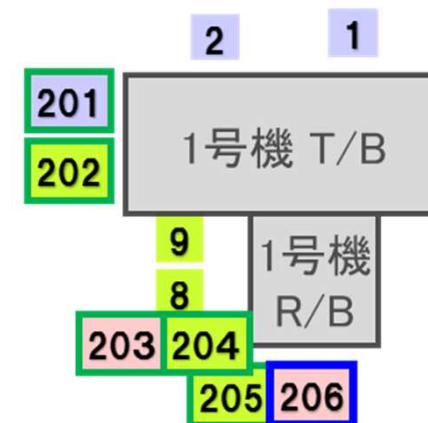
※1
NO.201ピットはポンプ交換に伴い停止
(4/3~4/6)



—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

至近の水位変動 (1号機)

	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	
----- 201(N1)	短時間運転	※1	○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				

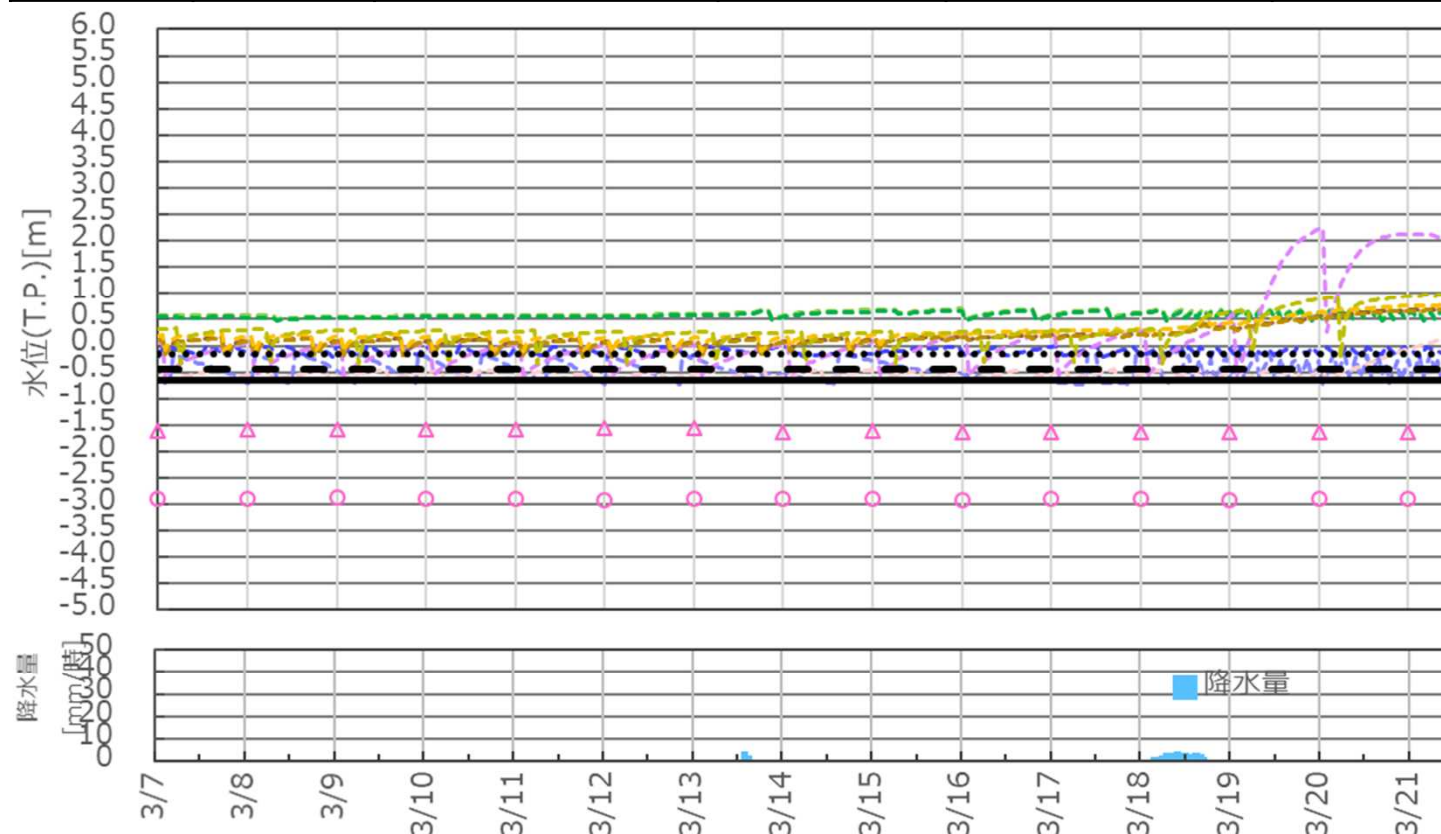
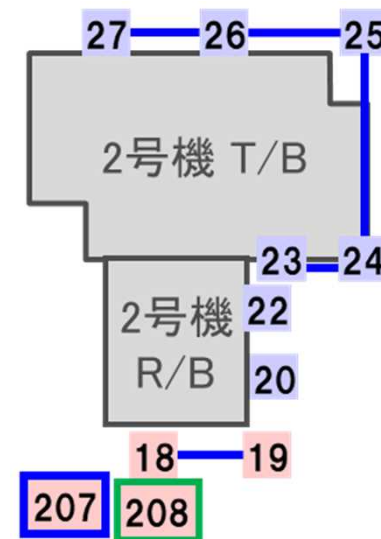


※1
NO.201ピットはポンプ交換に伴い停止
(4/3~4/6)

—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

至近の水位変動 (2号機)

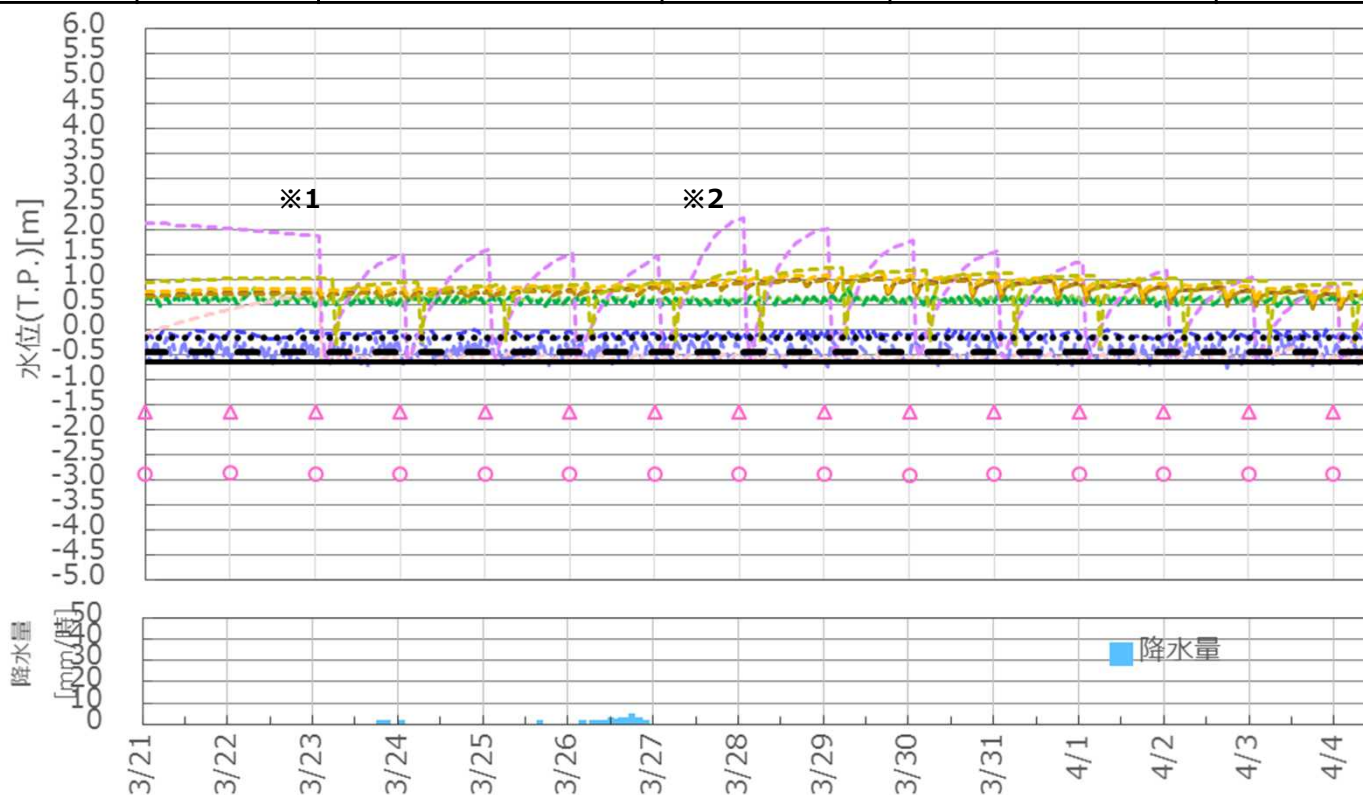
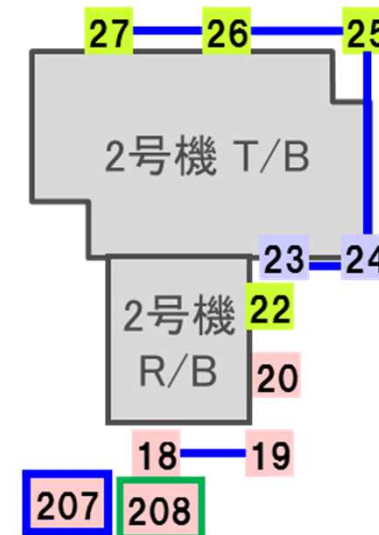
	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転		----- 22	停止	
----- 208(N8)	連続運転		----- 23	停止	
----- 18	連続運転		----- 24	停止	
----- 19	連続運転		----- 25	停止	
----- 20	停止		----- 26	停止	
			----- 27	停止	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		



①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値

至近の水位変動 (2号機)

	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転		----- 22	停止	※1、※2
----- 208(N8)	連続運転		----- 23	停止	
----- 18	連続運転		----- 24	停止	
----- 19	連続運転		----- 25	停止	※1
----- 20	停止	※1	----- 26	停止	※1
			----- 27	停止	※1
△ #2 T/B			○ #2 R/B		

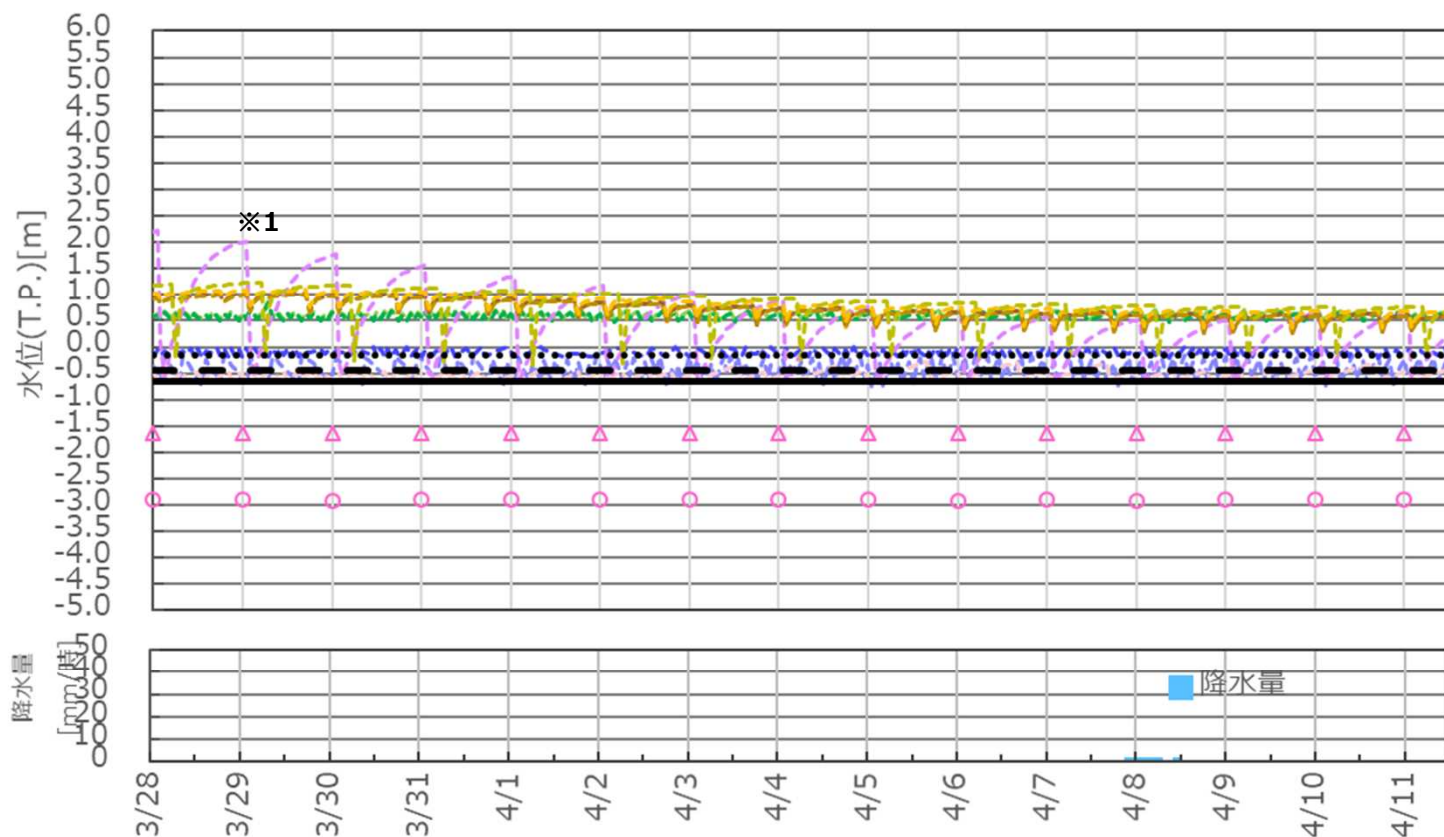


※1
 No.20、22、25、26、27ピットは、
 2号構台設置工事に伴い運転停止 (3/21~23)

※2
 No.22ピットは3月26日の降雨により水位が
 上昇

至近の水位変動 (2号機)

	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転		----- 22	停止	※1
----- 208(N8)	連続運転		----- 23	停止	
----- 18	連続運転		----- 24	停止	
----- 19	連続運転		----- 25	停止	
----- 20	停止	※1	----- 26	停止	
			----- 27	停止	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		

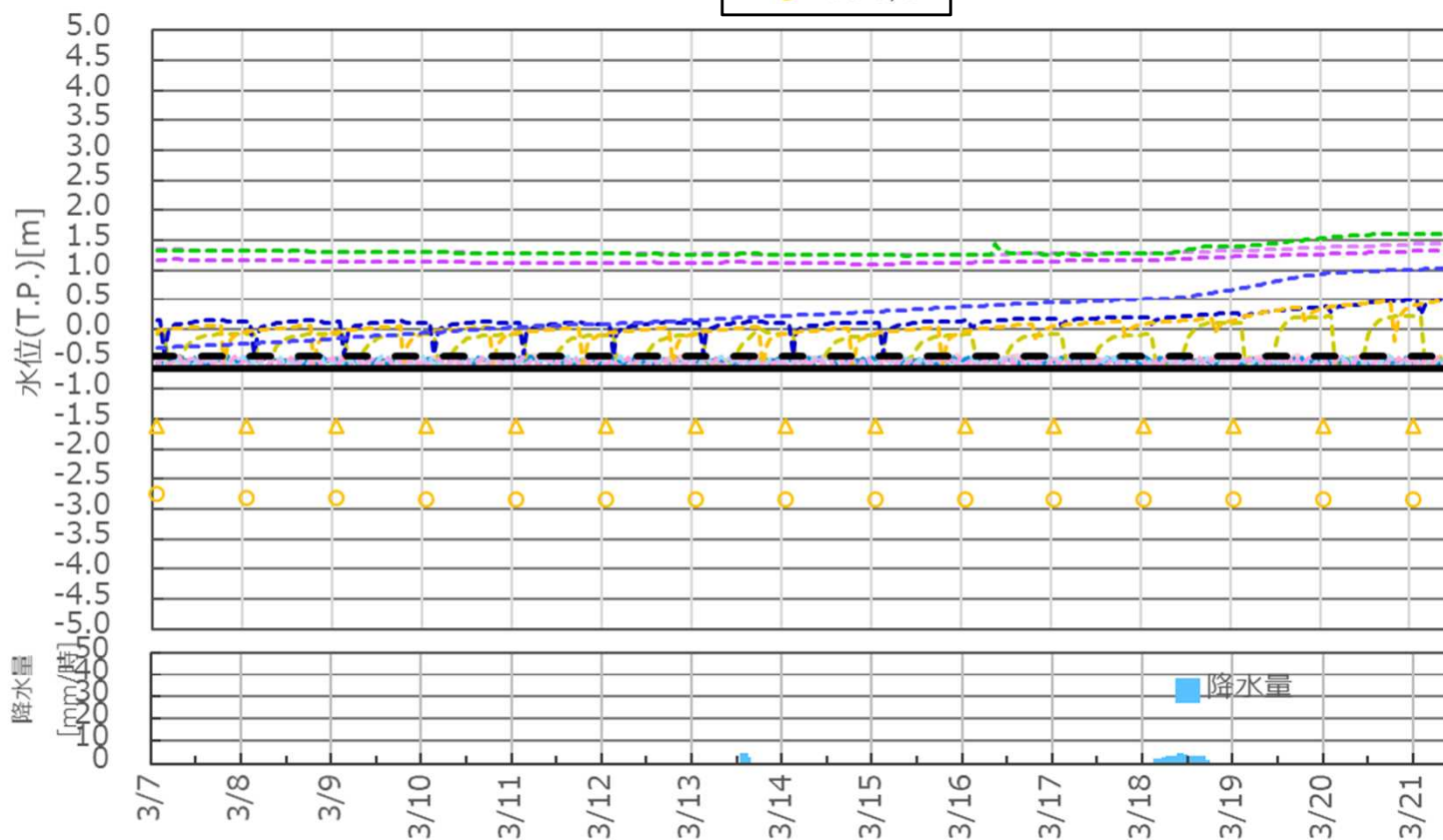


※1
No.22ピットは3月26日の降雨により水位が
上昇

—— ①周辺ピットL値 - - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

至近の水位変動 (3号機)

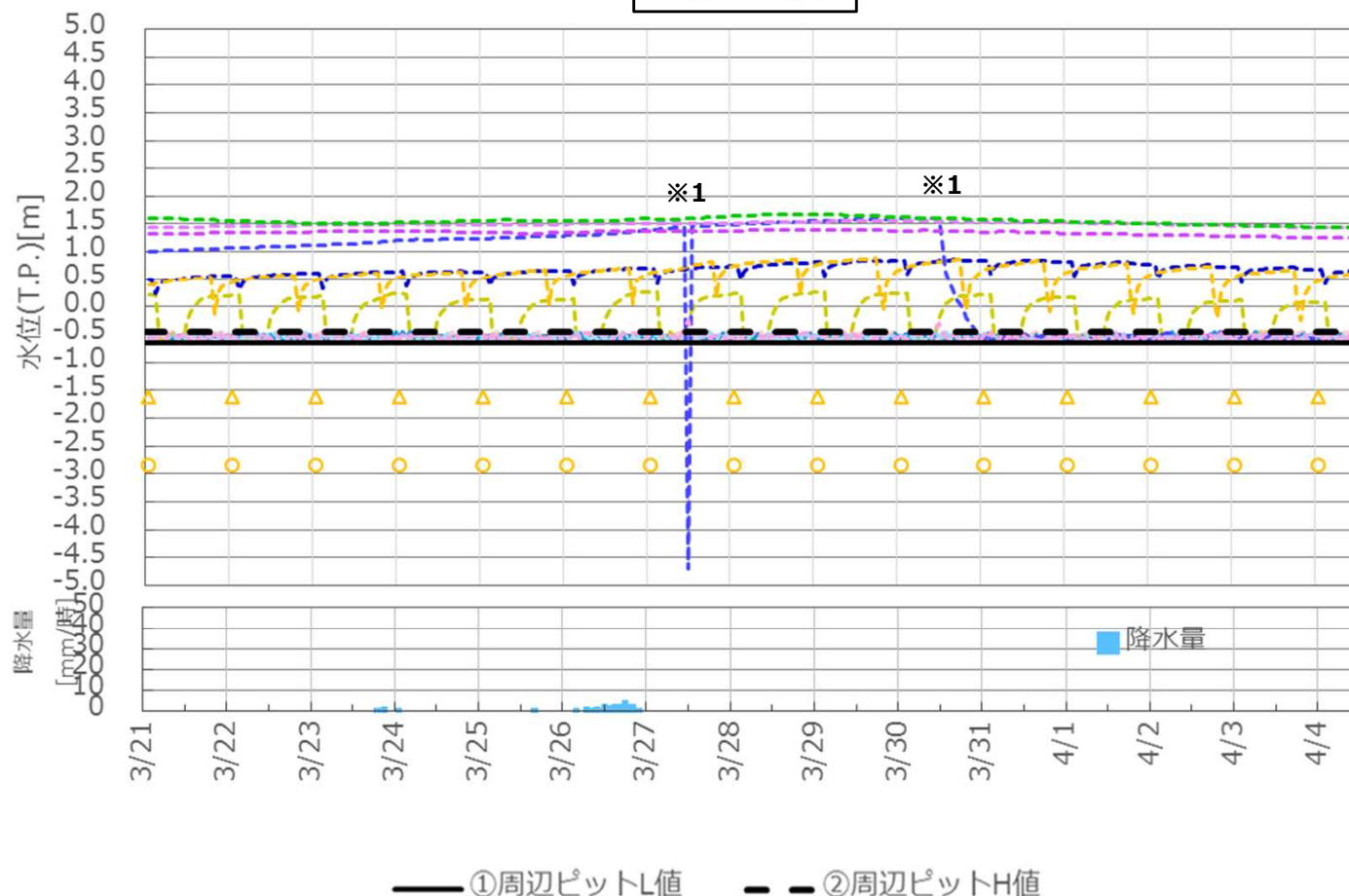
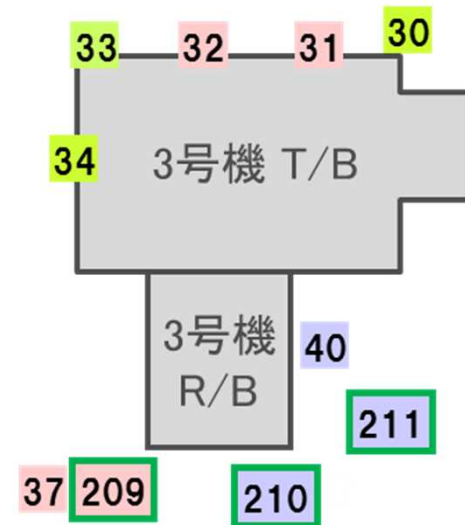
	運転状況	備考		運転状況	備考
--- 30	短時間運転		--- 40	停止	
--- 31	連続運転		--- 209(N9)	連続運転	
--- 32	連続運転		--- 210(N10)	停止	
--- 33	短時間運転		--- 211(N11)	停止	
--- 34	短時間運転		--- 21	連続運転	
--- 37	連続運転		△ #3 T/B		
			○ #3 R/B		



— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値

至近の水位変動 (3号機)

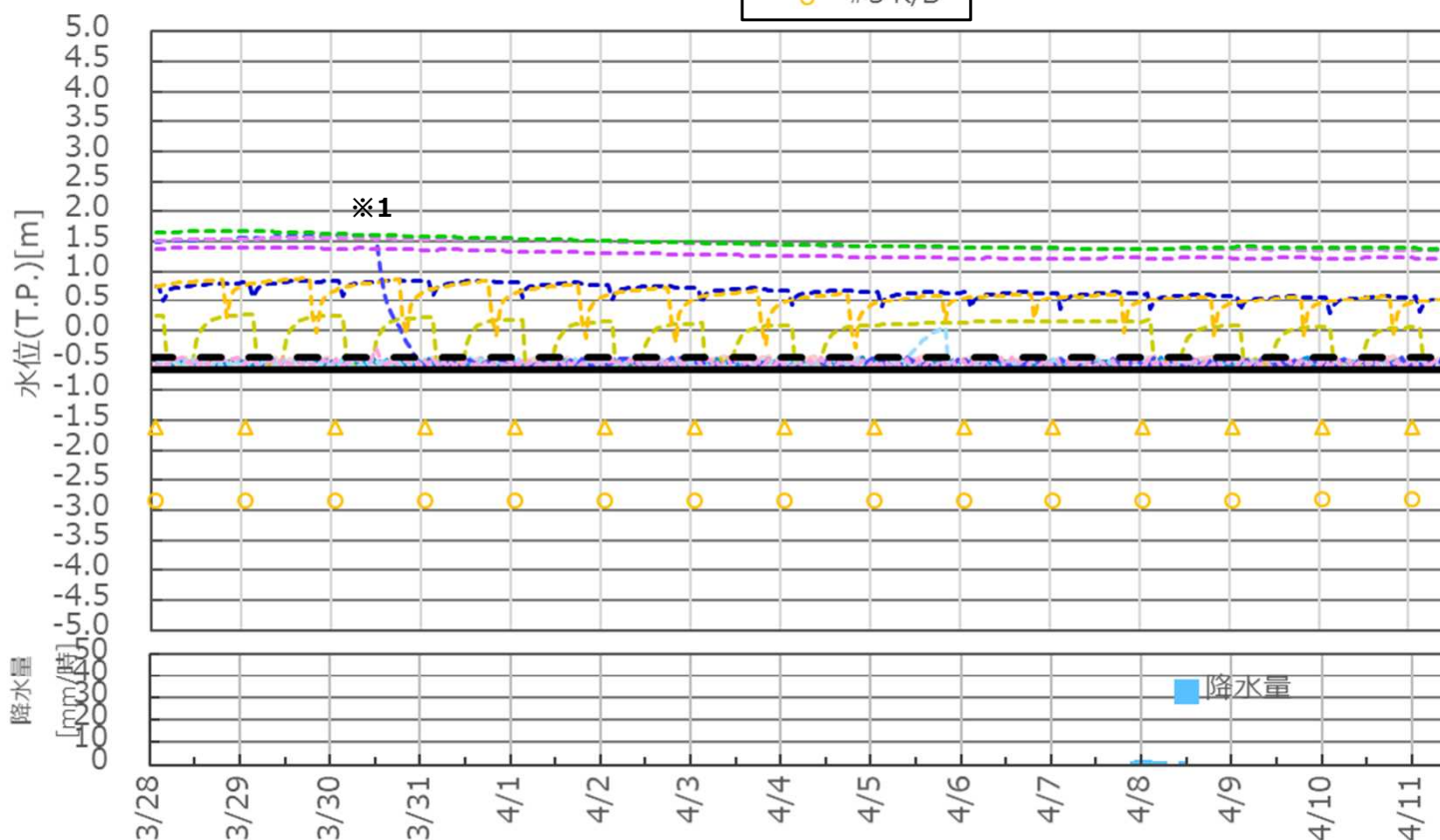
	運転状況	備考		運転状況	備考
---	30	短時間運転	---	40	停止
---	31	連続運転	---	209(N9)	連続運転
---	32	連続運転	---	210(N10)	停止
---	33	短時間運転	---	211(N11)	停止
---	34	短時間運転	---	21	連続運転
---	37	運転停止	※1	△ #3 T/B	
				○ #3 R/B	



※1
No.37ピットは、ポンプの詰まりにより水位が上昇した。
このため、揚水ポンプ交換 (3/27~30) と、これに伴う運転停止、水位計停止・一時引き上げを実施。

至近の水位変動 (3号機)

	運転状況	備考		運転状況	備考
---	30	短時間運転	---	40	停止
---	31	連続運転	---	209(N9)	連続運転
---	32	連続運転	---	210(N10)	停止
---	33	短時間運転	---	211(N11)	停止
---	34	短時間運転	---	21	連続運転
---	37	運転停止	※1	△ #3 T/B	
				○ #3 R/B	

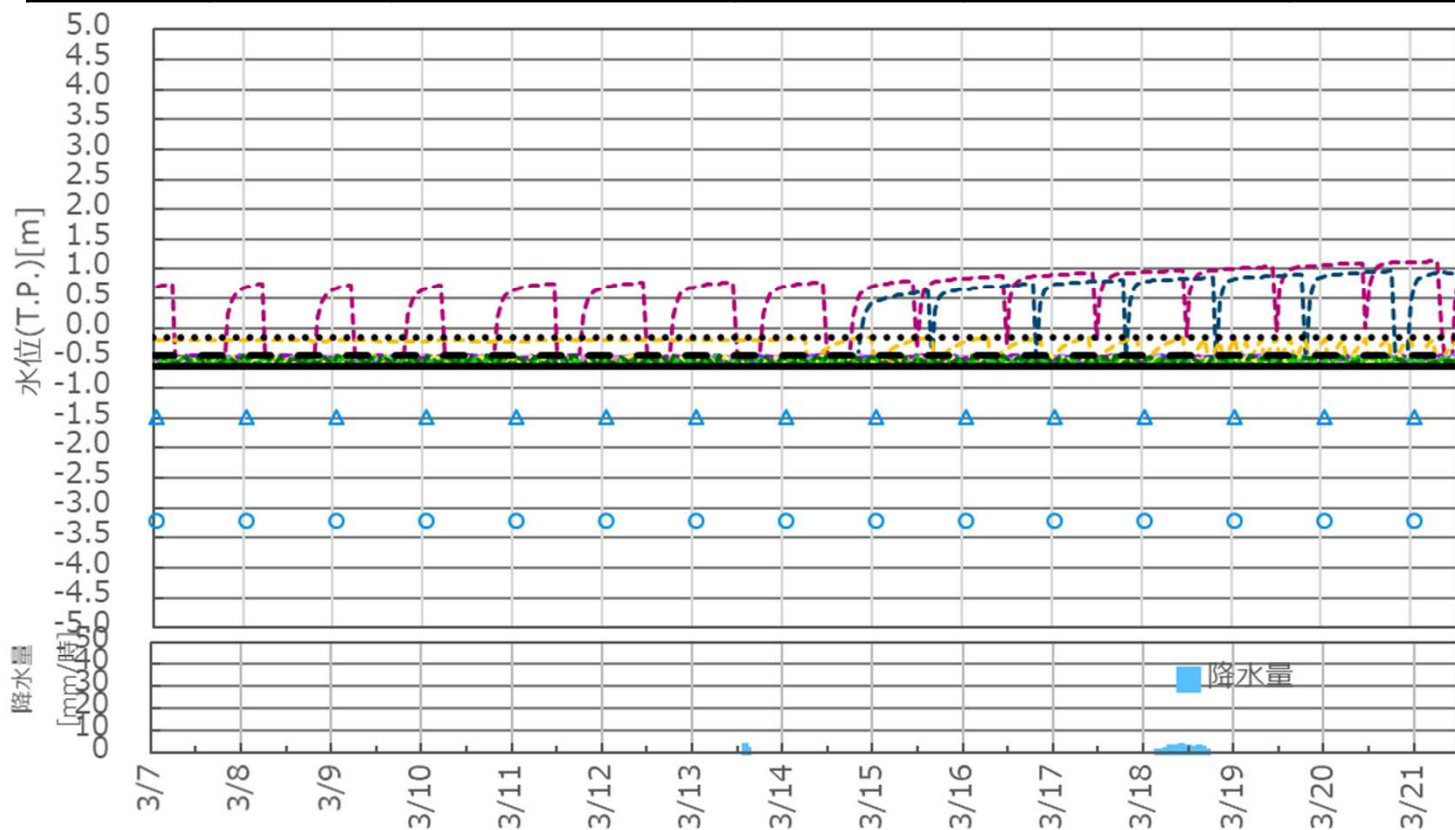


※1
No.37ピットは、ポンプの詰まりにより水位が上昇した。
このため、揚水ポンプ交換 (3/27~30) と、これに伴う運転停止、水位計停止・一時引き上げを実施。

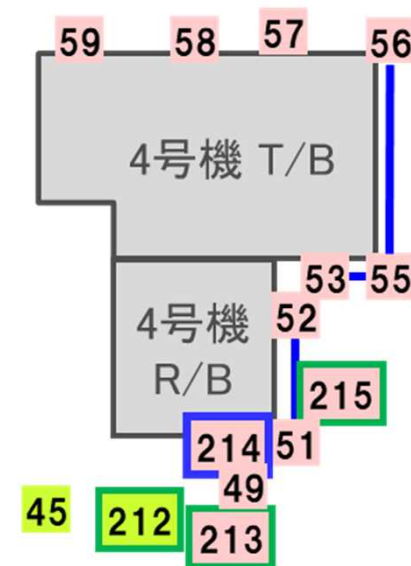
—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値

至近の水位変動 (4号機)

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	短時間運転	※1	--- 57	連続運転	
--- 49	連続運転		--- 58	連続運転	
--- 51	連続運転		--- 59	連続運転	
--- 52	連続運転		--- 212(N12)	短時間運転	※2
--- 53	連続運転		--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転		--- 214(N14)	連続運転	
--- 56	連続運転		--- 215(N15)	連続運転	
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



— ①周辺ピットL値 - - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

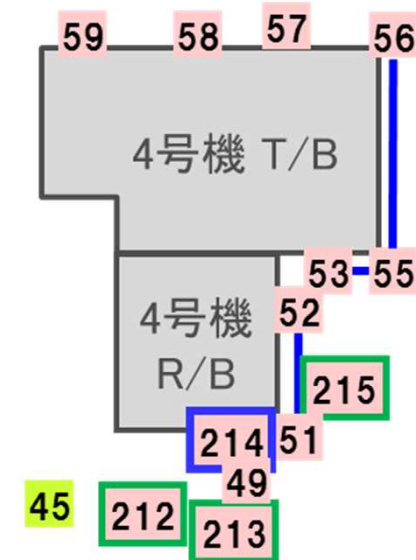
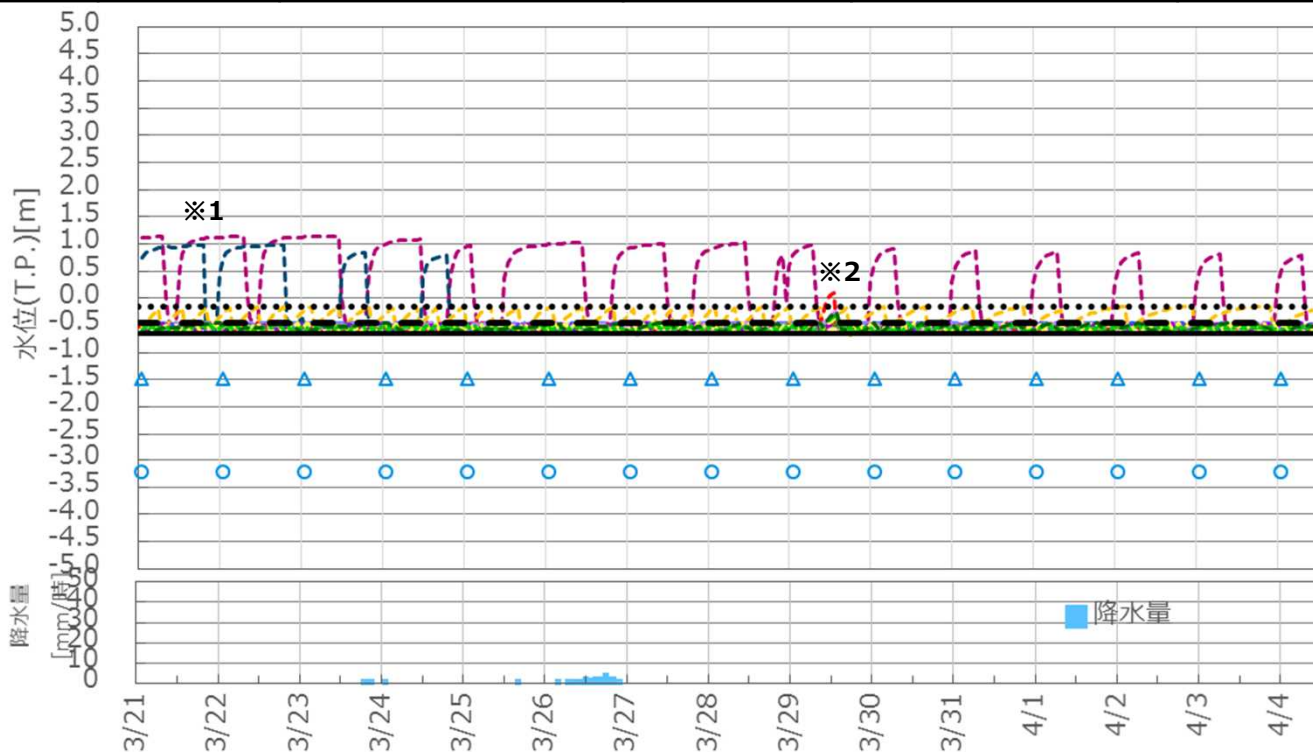


※1
No.45は、No.211ピットの水位が、水位低低まで低下しないようにするため、短時間運転を実施

※2
No.212は、3月14日にNo.211ピットが水位低低に近づいたことに対応して、短時間運転を実施

至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	短時間運転	※1	--- 57	連続運転	
--- 49	連続運転	※2	--- 58	連続運転	
--- 51	連続運転		--- 59	連続運転	
--- 52	連続運転		--- 212(N12)	連続運転	※1
--- 53	連続運転		--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転		--- 214(N14)	連続運転	
--- 56	連続運転		--- 215(N15)	連続運転	
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		

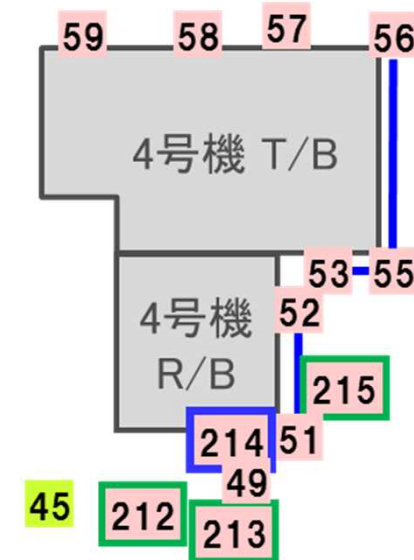
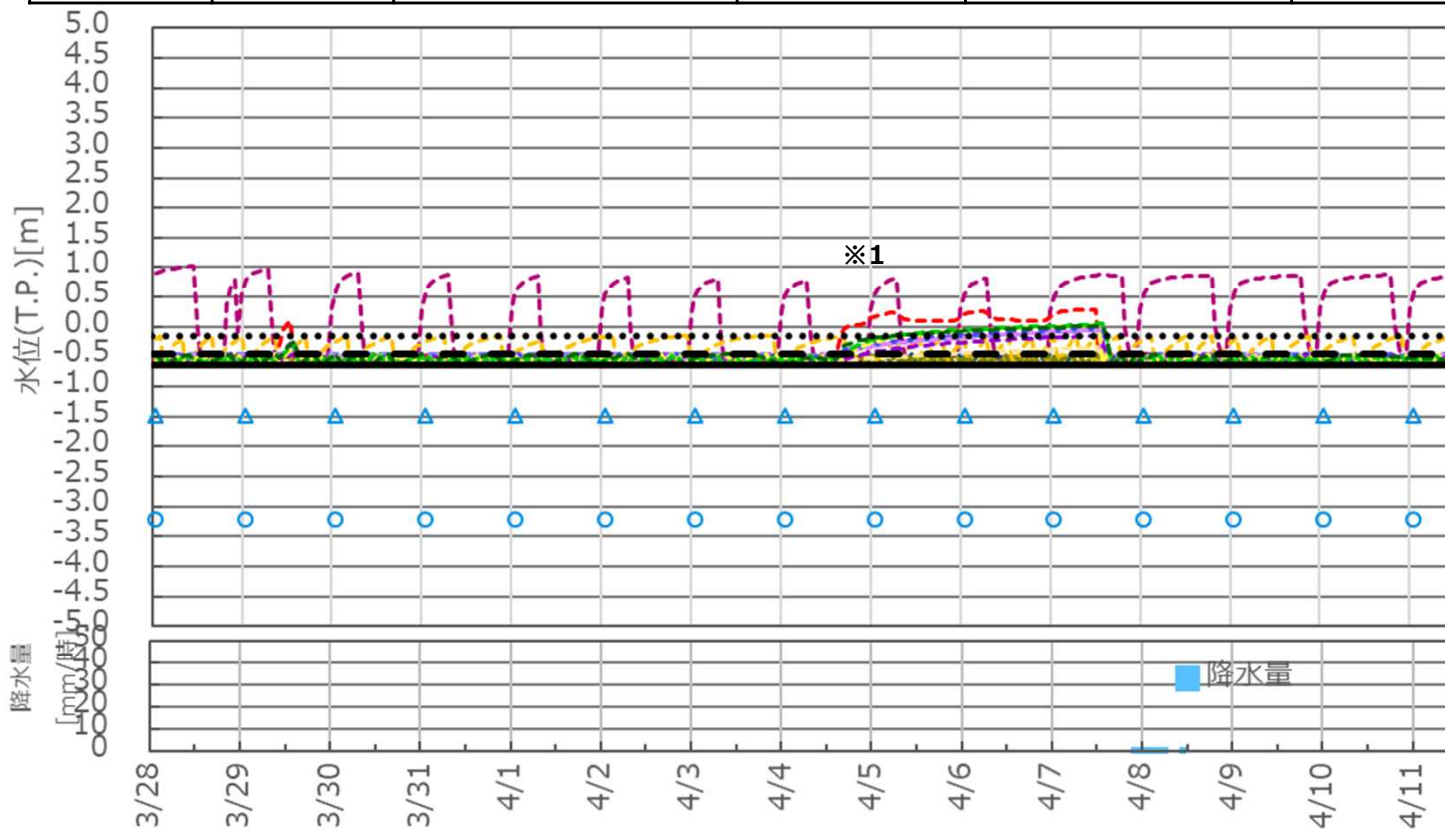


※1
No.45・212は、No.211ピットの水位が水位低低まで低下しないようにするため、短時間運転を実施

※2
No.5中継移送ポンプ流量の低下に伴い、No.49ピットは短時間運転とした。
(3/29)

至近の水位変動 (4号機)

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	短時間運転		--- 57	連続運転	※1
--- 49	連続運転	※1	--- 58	連続運転	※1
--- 51	連続運転		--- 59	連続運転	※1
--- 52	連続運転	※1	--- 212(N12)	連続運転	
--- 53	連続運転	※1	--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転	※1	--- 214(N14)	連続運転	
--- 56	連続運転	※1	--- 215(N15)	連続運転	※1
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



※1
No.5中継系統は、移送ポンプ流量の低下に伴い、4月4日に全ピットの運転を停止。
4/13にポンプ吸込みYストレーナ手動清掃を行い、運転を再開。）

—— ①周辺ピットL値 - - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

サブドレン水質一覧(2023.4.13現在)



単位 : Bq/L

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全β	トリチウム	採取日
既設ビット	1号機	1	4.2	88	3,600	10,000	2023.3.24
			4.6	94	3,700	14,000	2023.4.7
		2	5.5	5.0	23,000	180	2023.3.24
			5.1	4.7	18,000	120	2023.4.7
		8	4.5	8	14	3,300	2023.4.1
			3.9	15	18	7,000	2023.4.8
		9	5.5	6	11	2,800	2023.4.1
			5.1	11	26	4,600	2023.4.8
		2号機	18	3.9	89	140	130
	4.9			100	110	170	2023.4.12
	19		8	280	330	220	2023.4.5
			6	280	360	410	2023.4.12
	20		5.4	4.3	11	440	2023.3.22
			4.6	4.7	10	460	2023.4.5
	21		5.0	3.9	11	110	2023.3.22
			5.0	4.6	10	110	2023.4.5
	22		5.0	25	100	180	2023.4.4
			5.0	42	100	180	2023.4.11
	23		6.4	150	230	1,000	2023.4.4
			5.5	180	310	1,700	2023.4.11
	24		4.2	170	300	2,500	2023.4.4
			4.9	190	270	2,600	2023.4.11
	25		36	1,500	2,400	11,000	2023.4.4
			42	1,800	2,900	13,000	2023.4.11
	26	18	730	1,200	3,500	2023.4.4	
		18	970	1,700	6,200	2023.4.11	
	27	68	3,000	6,300	1,200	2023.4.4	
		92	4,800	12,000	2,300	2023.4.11	
	3号機	30	7	250	870	4,700	2023.3.24
			11.0	270	610	4,700	2023.4.7
		31	6.8	5	510	1,700	2023.3.24
			5.1	6	420	1,800	2023.4.7
		32	3.9	3.9	11	4,400	2023.3.24
			5.4	5.3	10	4,200	2023.4.7
		33	6.6	4.3	11	22,000	2023.3.24
			5.0	5.2	10	18,000	2023.4.7
		34	5.0	10	11	8,000	2023.3.24
			5.1	6	10	11,000	2023.4.7
		37	5.0	3.8	10	120	2023.3.8
	3.9		4.7	10	110	2023.4.5	
40	5	140	190	240	2022.8.26		
	110	3,700	4,200	170	2022.9.2		

- 赤字は検出限界値未満を表す
- ハッチングは最新値を示す。

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全β	トリチウム	採取日
既設ビット	4号機	45	3.0	4.4	12	120	2022.9.2
			6.0	3.7	11	120	2022.10.21
		51	4.4	4.4	9.4	110	2021.9.17
			3.5	3.9	12	120	2022.9.2
		52	4.0	4.8	9.4	110	2021.9.17
			3.9	4.8	11	130	2022.9.16
		53	4.4	5.4	9.4	110	2021.9.17
			3.9	4.8	11	130	2022.9.16
		55	3.8	5.2	9.4	110	2021.9.17
			4.7	5.2	11	130	2022.9.16
		56	5.0	4.2	14.0	110	2023.3.4
			4.9	5.0	9	110	2023.4.1
		57	3.5	3.9	9.4	110	2021.9.17
			3.0	5.2	11	120	2022.9.16
		58	4.1	5.9	260	110	2021.9.17
			3.7	3.4	31	130	2022.9.16
		59	3.0	3.9	32	310	2021.9.17
			3.8	4.4	26	280	2022.9.16
		新設ビット	1号機	201	6.0	6.2	13
4.5	4.4				10	4,000	2023.4.11
202	4.5			3.8	10	660	2023.4.4
	3.9			3.4	10	570	2023.4.11
203	5.0			5.2	11	220	2023.3.25
	4.2			4.9	13	210	2023.4.8
204	3.9			3.4	11	860	2023.3.25
	3.9			4.6	13	970	2023.4.8
205	5.0			4.2	10	4,000	2023.4.1
	4.2			4.2	13	3,300	2023.4.8
206	5.0			6	11	340	2023.3.25
	4.6	4	13	280	2023.4.8		
207	4.2	7	38	2,300	2023.3.22		
	5.0	5	39	2,700	2023.4.5		
208	4.6	4.3	13	1,100	2023.4.5		
	3.9	4.4	12	1,300	2023.4.12		
3号機	209	5.0	3.8	14	110	2023.3.4	
		6.0	3.8	9	110	2023.4.1	
	210	4.4	4.8	11	110	2021.7.16	
		5.1	3.9	12	120	2022.9.2	
	211	3.2	3.9	11	120	2021.7.16	
4号機	212	4.5	5.4	9.4	110	2021.9.17	
		4.0	4.9	12	120	2022.9.2	
	213	3.8	4.3	9.4	110	2021.9.17	
		5.0	3.4	12	120	2022.9.2	
	214	4.6	53	53	160	2023.3.4	
		4.2	29	31	110	2023.4.1	
	215	2.8	3.9	9.4	110	2021.9.17	
		5.1	3.4	11	130	2022.9.16	
既設ビット	4号機	49	5.5	5.3	10	100	2023.3.29
			4.2	4.4	12	110	2023.4.12

単位：m³

	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1~4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
3/7	19	38	28	55	35	175	87
3/8	20	37	26	53	36	172	91
3/9	20	38	24	52	34	168	88
3/10	18	36	21	53	34	162	91
3/11	19	38	20	41	37	155	79
3/12	19	36	19	41	36	151	96
3/13	18	37	19	38	37	149	80
3/14	16	33	16	36	37	138	81
3/15	16	33	17	12	39	117	88
3/16	13	26	15	11	41	106	89
3/17	12	27	15	12	43	109	88
3/18	14	29	19	12	46	120	79
3/19	21	28	22	13	60	144	90
3/20	24	32	24	17	68	165	94
平均						145	87

(くみ上げ量は当日0時から24h)

単位：m³

	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1~4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
3/21	23	34	21	25	64	167	84
3/22	21	34	22	33	63	173	92
3/23	26	41	31	50	57	205	95
3/24	24	42	29	44	60	199	86
3/25	24	40	30	56	59	209	84
3/26	25	41	31	52	60	209	93
3/27	27	42	35	58	66	228	96
3/28	32	42	38	48	76	236	97
3/29	35	50	37	66	64	252	96
3/30	32	47	86	65	66	296	95
3/31	33	47	100	63	61	304	90
4/1	30	48	78	60	58	274	98
4/2	29	47	70	60	56	262	92
4/3	28	42	65	59	53	247	92
平均						233	92

(くみ上げ量は当日0時から24h)

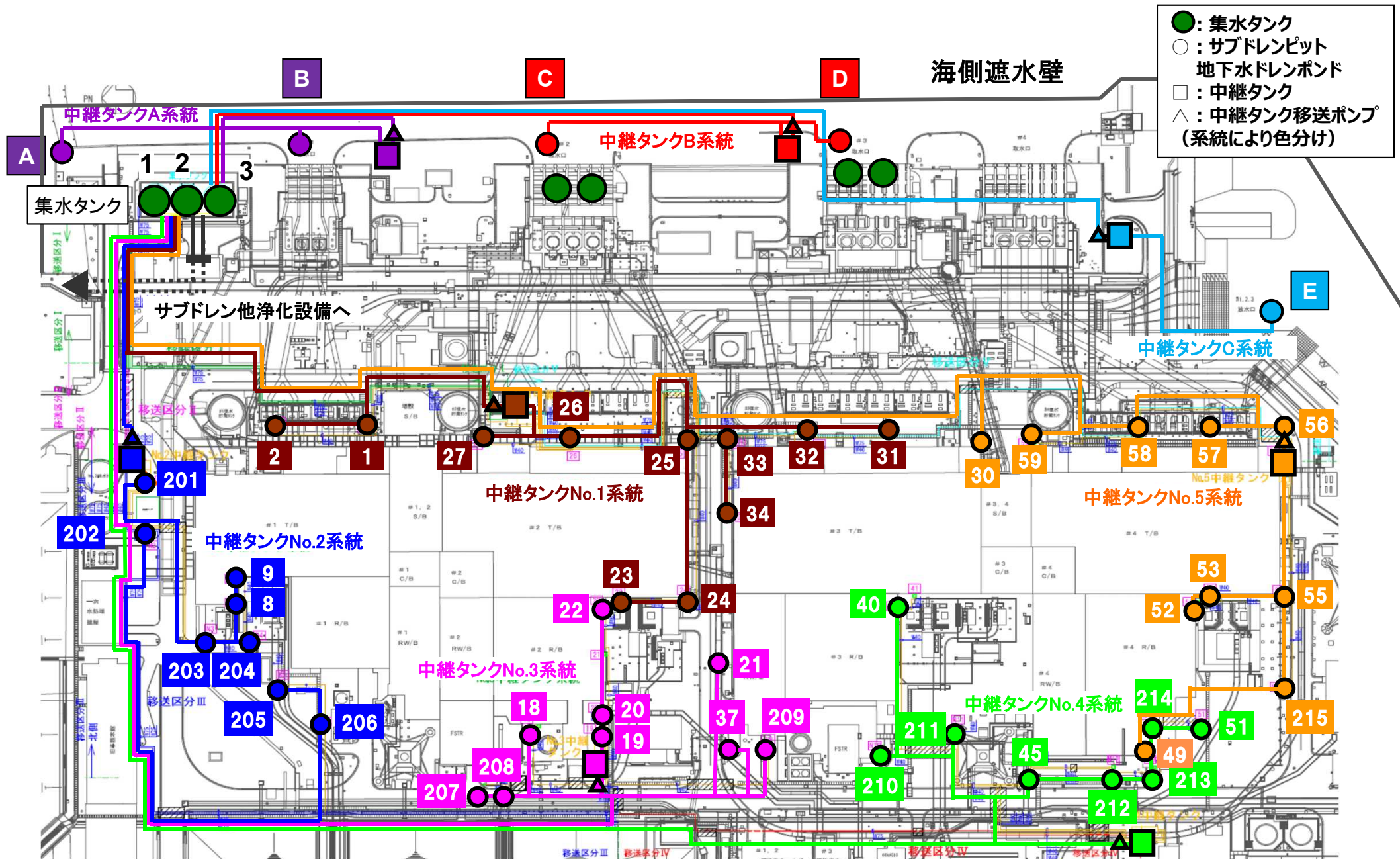
中継タンクくみ上げ量

単位：m³

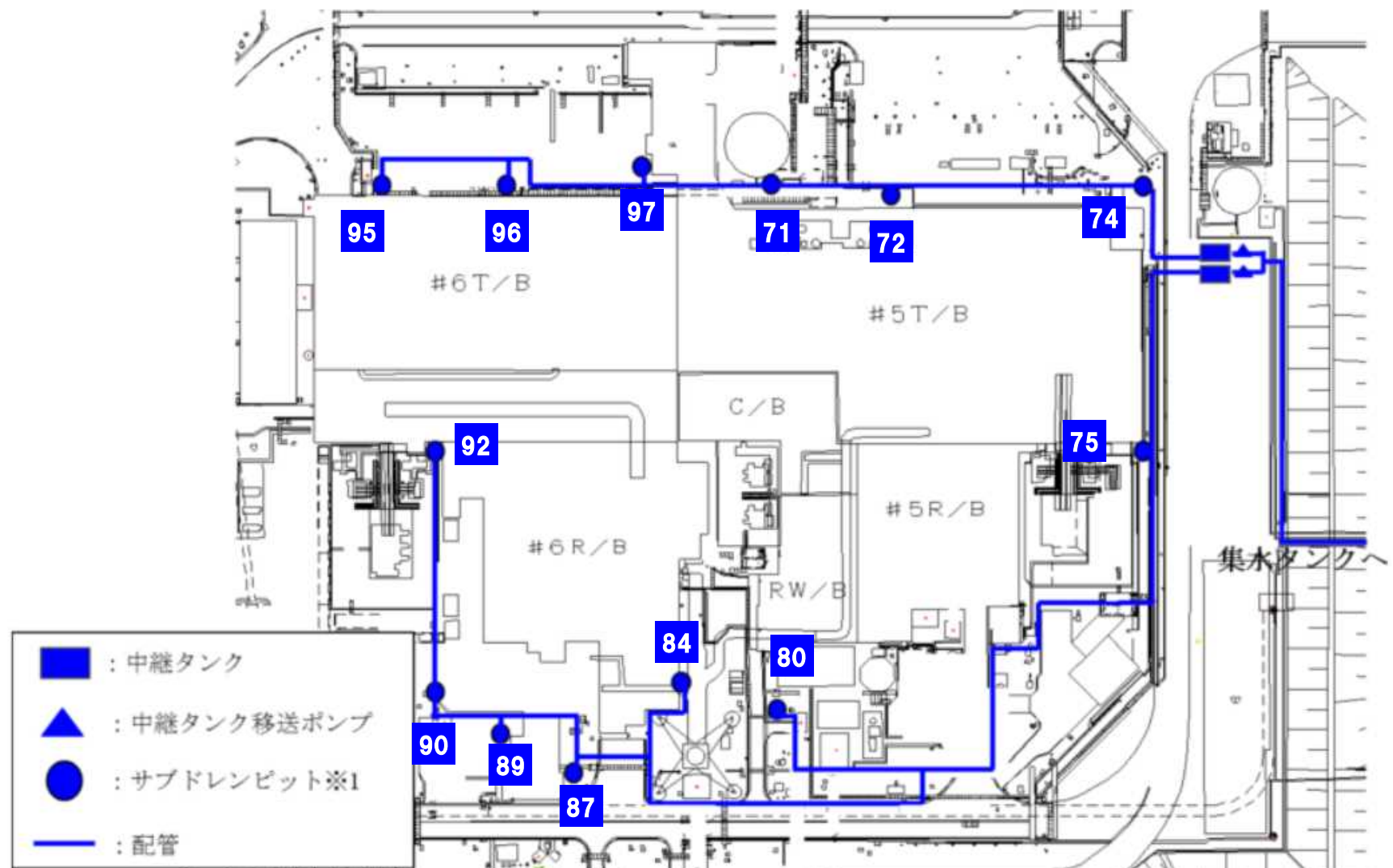
	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1~4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
3/28	32	42	38	48	76	236	97
3/29	35	50	37	66	64	252	96
3/30	32	47	86	65	66	296	95
3/31	33	47	100	63	61	304	90
4/1	30	48	78	60	58	274	98
4/2	29	47	70	60	56	262	92
4/3	28	42	65	59	53	247	92
4/4	28	40	59	58	32	217	93
4/5	24	38	56	64	0	182	89
4/6	25	40	56	63	0	184	101
4/7	28	47	54	42	42	213	85
4/8	24	45	54	40	62	225	89
4/9	24	46	53	39	55	217	97
4/10	24	44	52	38	52	210	89
平均						237	93

(くみ上げ量は当日0時から24h)

【参考1】サブドレン・地下水ドレン 中継タンク系統図



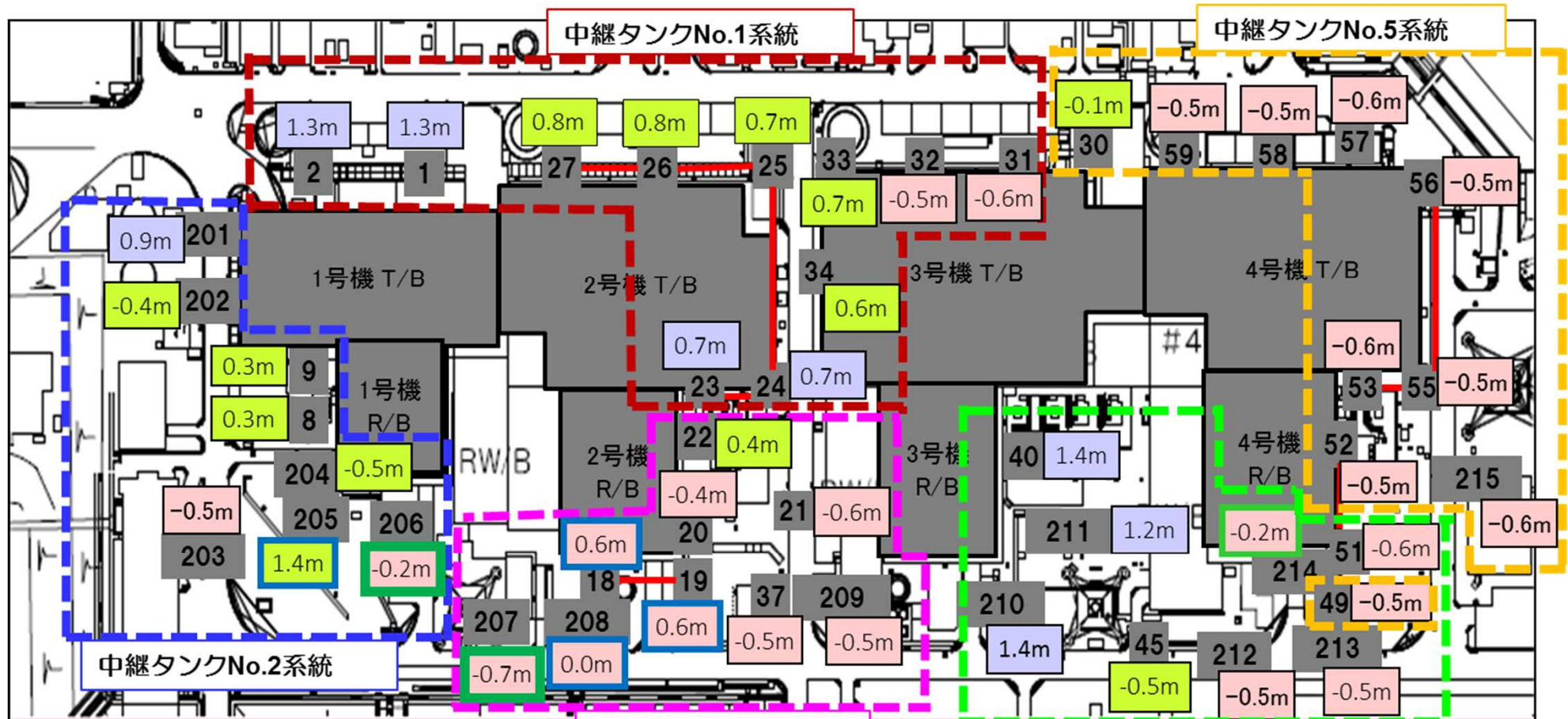
※1 揚水ポンプおよび水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計46台、水位計：各ピットに2台ずつ、計92台)



※1揚水ポンプと水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計13台、水位計：各ピットに1台ずつ、計13台)

図-9 サブドレン集水設備系統図(5・6号機)

【参考】サブドレン水位の状況について (2023.4.11 12時時点)



水位の凡例

- : 連続稼働中 (大口径ピットの設定水位-0.65~-0.45m)
(25基/46基) [うち、設定水位より高めのピットは朱書き (0基)]
- : 短時間運転 (13基/46基)
- : 停止中 (8基/46基)
- : 未拡張用水位設定中。緑囲み(3基/46基)
- : 汲み上げ抑制・トリチウム濃度調査のため、高めの水位設定。青囲み(4基/46基)

— : 横引き管

汚染水発生量低減対策について

- ・ 1-4号タンク堰内雨水処理設備対象水の拡大

2023年4月21日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

0. はじめに

■ 汚染水低減対策について（2023/2/17面談にてご説明済）

- 現状、『2025年度内に汚染水発生量を100m³/日以下に抑制する。』の目標に向け、対策を進めているところである。
- その中、2021年に発生した『物揚場排水路ゲート閉鎖事象』では、汚染水発生量を3,500m³増加させる結果となった。
- 上記で発生した水が、雨水処理設備にて処理可能な濃度帯であれば、雨水処理を行い構内散水することで更なる汚染水発生量の低減につなげる。（実施計画変更認可案件）
- また、上記に併せて放射性物質濃度が低い構内溜まり水（トレンチ内の溜まり水等）も同様に雨水処理設備で処理したいと考えている。

■ 今回のご報告事項

- 放射性物質濃度が低い構内溜まり水（トレンチ内の溜まり水等）について、下記基準に則り5設備を選定。
 - ✓ 建屋滞留水の回り込みが無いこと。
 - ✓ H-3濃度が検出下限値であること。
 - ✓ Cs-137濃度が告示濃度（90Bq/L）を超えていること。
 - ✓ 保有水量が100m³を超えていること。

1. 対象トレンチ一覧 (1 / 3)

- 2022年度までに、溜まり水が確認されているトレンチは27設備。
- 放射能濃度および保有水量等により3つの分類に大別し管理する。
 - (1) 雨水処理設備により処理するトレンチ【Cs-137濃度:90Bq/L以上、保有水量：100m3以上】
 - (2) プロセス主建屋に移送するトレンチ【Cs-137濃度:90Bq/L以上、保有水量：100m3未満】
 - (3) 監視継続するトレンチ【Cs-137濃度:90Bq/L未満、トレンチ出口閉塞済】

(1) 雨水処理設備により処理するトレンチ < 5設備 >

No.	トレンチ名称	建屋接続位置	滞留水水位 (過去最大値)	H-3 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	保有水量 (m3)
1	1号機コントロールケーブルダクト	TP 5.66m	TP 3.69m [1号機]	ND ($<1.2 \times 10^2$)	1.1×10^2	100
2	1号機主変圧器ケーブルダクト	未接続※1	—	ND ($<1.2 \times 10^2$)	1.8×10^2	518
3	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	未接続※1	—	ND ($<1.2 \times 10^2$)	2.5×10^2	292
4-1	2~4号機DG連絡ダクト	TP 3.10m [2号機]	TP 2.38m [2号機]	ND ($<1.2 \times 10^2$)	1.0×10^2	1,594
4-2	2~4号機DG連絡ダクト	TP 3.86m [4号機]	TP 2.43m [4号機]			
5	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	TP 4.06m	TP 2.44m [3号機]	ND ($<1.3 \times 10^2$)	4.0×10^2	840

※1 建屋との直接接続は無いが、建屋接続している「1号機コントロールケーブルダクト」と接続部有

1. 対象トレンチ一覧 (2 / 3)

(2) プロセス主建屋に移送するトレンチ < 9設備 >

No.	トレンチ名称	建屋接続位置	滞留水水位 (過去最大値)	H-3 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	保有水量 (m3)
1	1号機放射性流体用配管ダクト	TP 5.85m	TP 3.69m [1号機]	4.9×10^2	9.1×10^3	4
2	2号機電源ケーブルトレンチ(8.5m盤)	TP 3.56m	TP 2.38m [2号機]	5.0×10^2	9.0×10^2	1
3	3号機オフガス配管ダクト(南側)	TP 6.23m	TP 2.44m [3号機]	ND ($< 1.2 \times 10^2$)	1.1×10^3	10
4	3号機電源ケーブルトレンチ	TP 0.66m	TP 2.44m [3号機]	2.8×10^2	5.1×10^3	1.9
5	No.2 軽油配管トレンチ	TP 5.91m	TP 2.44m [3号機]	ND ($< 1.2 \times 10^2$)	4.9×10^2	26
6	重油配管トレンチ(3,4号機東側)	TP 8.16m [3u] TP 8.63m [4u]	TP 2.44m [3号機] TP 2.43m [4号機]	ND ($< 1.3 \times 10^2$)	3.4×10^3	7
7	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	TP 5.06m [2u] TP 3.83m [3u] TP 5.26m [3u] TP 6.59m [4u] TP 6.20m [4u]	TP 2.38m [2号機] TP 2.44m [3号機] TP 2.43m [4号機]	ND ($< 1.3 \times 10^2$)	1.3×10^2	53
8	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	未接続	—	ND ($< 9.9 \times 10^1$)	2.1×10^2	0.2
9	消火配管トレンチ(4号機東側)	未接続	—	ND ($< 1.0 \times 10^2$)	1.9×10^3	0.2

1. 対象トレンチ一覧 (3 / 3)

(3) 監視継続するトレンチ < 13設備 >

No.	トレンチ名称	建屋接続位置	滞留水水位 (過去最大値)	H-3 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	保有水量 (m3)
1	1号機海水配管トレンチ	TP 5.46m	TP 3.69m [1号機]	ND (<1.2×10 ²)	4.2×10 ¹	389
2	No.4,5軽油配管トレンチ	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	5.6×10 ¹	45
3	3号機主変圧器ケーブルダクト	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	5.2×10 ¹	474
4	2号機主変圧器ケーブルダクト	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	4.3×10 ¹	604
5	2号機変圧器防災用トレンチ	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	3.5×10 ¹	11
6	重油配管トレンチ (1号機東側)	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	2.8×10 ¹	6
7	4号機主変圧器ケーブルダクト	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	2.3×10 ¹	828
8	1号機活性炭ホールドアップダクト	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	1.7×10 ¹	221
9	消火配管トレンチ (SPT建屋北側)	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	1.1×10 ¹	14
10	1号機放水路 (出口閉塞済み)	未接続	—	1.2×10 ²	2.3×10 ³	5219
11	2号機放水路 (出口閉塞済み)	未接続	—	ND (<1.0×10 ²)	8.7×10 ²	5352
12	3号機放水路 (出口閉塞済み)	未接続	—	1.3×10 ²	5.9×10 ²	3355
13	4号機放水路 (出口閉塞済み)	未接続	—	ND (<1.2×10 ²)	2.1×10 ²	79

2023/2/17面談資料再掲

0. 経緯

■ 経緯

- 2021年3月2日 : 物揚場排水路に設置しているPSFモニタの高警報発生
: 物揚場排水路ゲート閉鎖
: 物揚場排水路の排水をタンクエリア内堰へ移送開始
- 2021年3月9日 : 物揚場排水路ゲート開放
- 2021年3月23日 : タンクエリア内堰貯留水をPMB/HTIへ移送完了
(物揚場排水路排水 : 約2,600m³ 堰内雨水 : 約900m³)

■ 課題

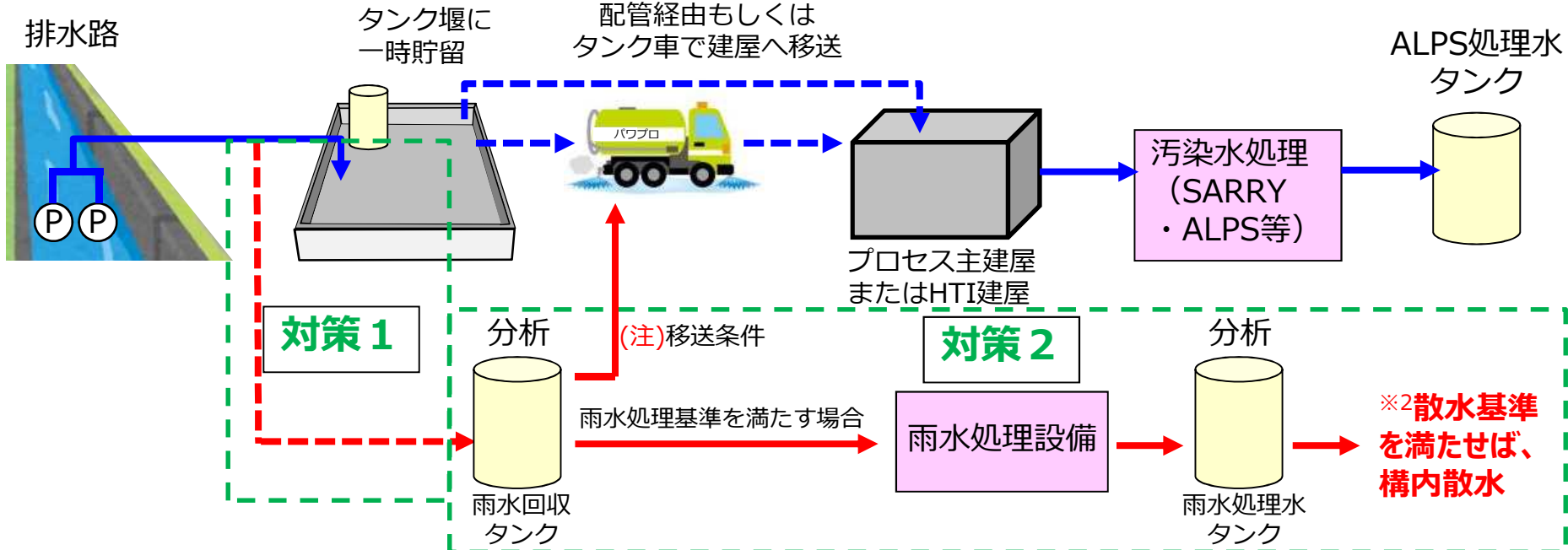
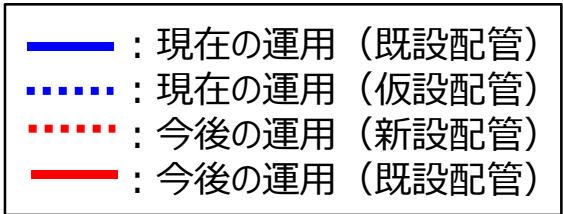
1. タンク堰内はタンク漏えい水を受ける場所であり、排水路の汚染水を受け入れる場所ではないが、緊急対応として一時貯留。
2. 物揚場排水路貯留水および元々堰内に溜まっていた雨水、合計3,500m³をPMBへ移送している。⇒汚染水発生量が3,500m³増加(物揚場 : 約2,600m³ 堰内雨水 : 約900m³)

■ 対策

1. 物揚場排水路から雨水回収タンクまでの移送配管を設置し、同様な事象が発生した場合、タンク堰に貯留せずともPMB/HTIへ移送出来る設備を構築する。
2. 上記対策により、堰内雨水との混水を避ける事が出来るため、その分の汚染水発生量を抑制することが出来る。(上記事象であれば、約900m³の抑制)
また、雨水処理設備にて処理が可能な濃度帯であれば、雨水処理を行い構内散水することで更なる汚染水発生量の低減につなげる。(上記事象であれば、約2,600m³の抑制)

1. 対策内容について

- 対策
1. 排水路から雨水回収タンクへの移送配管の設置
 2. 雨水処理設備対象水の追加



【(注)プロセス主建屋またはHTI建屋への移送条件】

- ①雨水処理基準※1を超過した場合
- ②排水路からの受入中にタンク貯留量を超える場合

2. 実施計画の変更箇所

■ 対策1：移送配管（実施計画対象外）

- 現状、排水路からタンク堰までの移送配管は「緊急時移送設備」として、実施計画対象外としている。
- 原子力規制庁殿より、「タンクエリアの堰に排水路からの汲み上げ水を貯留するのは、望ましい姿ではない」とのご指摘を受けている。ついては、堰の手前～堰内雨水用のタンクまで移送する配管を上記と同じく「緊急時移送設備」として設置し、堰ではなくタンクに貯留できる設備を構築したい。

■ 対策2：タンク堰内雨水処理設備の対象追加（実施計画対象）

- 現状、実施計画【Ⅱ-2-36（雨水処理設備等）】の処理対象水としては、『汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水』を対象水としており、排水路の汲上げ水を処理できる記載となっていないため、処理が可能となるように記載を見直したい。
- 本変更は、措置を講ずべき事項の『Ⅱ. 設計、設備について措置を講ずべき事項』に該当するため、変更認可申請を希望する。
- また、上記記載見直しにより、放射性物質濃度が低い構内溜まり水（トレンチ内の溜まり水等も、同様に雨水処理設備で処理したいと考えている。

3. 措置を講ずべき事項への該当有無について

前回から朱書き部修正

項目	評価内容
I. 全体工程及びリスク評価について講ずべき措置	措置を講ずべき事項の変更に該当する。
II. 設計、設備について措置を講ずべき事項	措置を講ずべき事項の変更に該当する。 (実施計画2章第36編における記載の変更)
III. 特定原子力施設の保安のために措置を講ずべき事項	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
IV. 特定核燃料物質の防護	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
V. 燃料デブリの取り出し・廃炉のために措置を講ずべき事項	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
VI. 実施計画を策定するにあたり考慮すべき事項	本変更申請は、既に策定された実施計画の変更であるため該当しない。
VII. 実施計画の実施に関する理解促進	実施計画の実施に関する理解促進に該当する。 (雨水処理設備対象水の追加は、地域住民地元自治体等へ幅広く情報共有する必要有)
VIII. 実施計画に係わる検査の受検	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。

【参考】 1～4号機建屋周辺トレンチ等たまり水の状況①

- 溜まり水が確認された1～4号機周辺のトレンチのうち、Cs-137濃度が告示濃度（90Bq/L）を上回っているトレンチが10設備確認されている。
- 濃度が高い個所から順次、たまり水を除去の上、閉塞していく予定。

番号	場所	水量(m3)	Cs-137濃度(Bq/L)
1-3	1号機放射性流体用配管ダクト	4	8.3E+03
1-26	3号機オフガス配管ダクト(南側)	9	1.3E+03
1-17	2号機電源ケーブルトレンチ	1	9.0E+02
1-27	重油配管トレンチ(3, 4号機東側)	5	5.7E+02
1-21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	828	4.0E+02
2-8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	292	2.5E+02
1-19	NO. 2軽油配管トレンチ	15	1.9E+02
2-7	1号機主変圧器ケーブルダクト	518	1.8E+02
1-9	1号機コントロールケーブルダクト	167	1.4E+02
1-12	2～4号機DG連絡ダクト	1,595	9.3E+01

2023年度上期から
PMBに水移送し閉塞を計画

2023年度下期以降
周辺作業と調整の上
対策検討予定

建屋接続トレンチ

【参考】 1～4号機建屋周辺トレンチ等たまり水の状況②

- Cs-137濃度が告示濃度（90Bq/L）未満のトレンチ： 9設備 水量 約2,600m³

番号	場所	水量(m ³)	Cs-137濃度(Bq/L)
2-31	No4, 5軽油配管トレンチ	45	5.6E+01
2-23	3号機主変圧器ケーブルダクト	474	5.2E+01
2-14	2号機主変圧器ケーブルダクト	604	4.3E+01
1-6	1号機海水配管トレンチ	408	4.1E+01
2-15	2号機変圧器防災用トレンチ	11	3.5E+01
2-6	重油配管トレンチ(1号機東側)	6	2.8E+01
2-29	4号機主変圧器ケーブルダクト	828	2.3E+01
2-12	1号機活性炭ホールドアップダクト	221	1.7E+01
2-36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	14	1.1E+01
	計	2,611	

※立坑のみ。水平部は閉塞済

建屋接続トレンチ

- 放水路（出口閉塞済み）：水量 約13,900m³

番号	場所	水量(m ³)	Cs-137濃度(Bq/L)
2-追加5	1号機放水路	5,219	2.3E+03
2-追加6	2号機放水路	5,352	8.7E+02
2-追加7	3号機放水路	3,355	5.9E+02
	計	13,926	

今後、他核種も分析の上、フォールアウト由来であることを確認の上、監視を継続していく予定。

【参考】実施計画新旧比較表（案）

変更前	変更後
<p>2.36 雨水処理設備等</p> <p>2.36.1 基本設計</p> <p>2.36.1.1 設置の目的 汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水のうち、その放射能濃度が排水基準を上回るものについて逆浸透膜を利用し、処理することを目的とする。</p> <p>2.36.1.2 要求される機能 (1)雨水処理設備等は、雨水の処理、貯留および管理等を行い、放射性物質の放射能濃度を低減し、排水する能力を有すること。</p>	<p>2.36 雨水処理設備等</p> <p>2.36.1 基本設計</p> <p>2.36.1.1 設置の目的 汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水のうち、その放射能濃度が排水基準を上回るものについて逆浸透膜を利用し、処理することを目的とする。 また、低濃度の構内溜まり水(雨水処理設備で処理可能な濃度域)についても同様の処理を行う。</p> <p>2.36.1.2 要求される機能 (1)雨水処理設備等は、雨水および低濃度の構内溜まり水(雨水処理設備で処理可能な濃度域)の処理、貯留および管理等を行い、放射性物質の放射能濃度を低減し、排水する能力を有すること。</p>